令和元年度

伊勢原市転入･転出に関する
アンケート調査報告書

目　次

第１章　調査の概要 ･･････ 1
１．調査の目的 ･･････ 3
２．調査概要 ･･････ 3
３．調査項目 ･･････ 3
４．調査結果を見る上での注意事項 ･･････ 3

第２章　調査結果 ･･････ 5
１．「転入」に関するアンケート調査の結果 ･･････ 7
（１）性別 ･･････ 7
（２）年齢 ･･････ 7
（３）職業 ･･････ 8
（４）国籍 ･･････ 8
（５）転入前・転入後の家族構成 ･･････ 9
（６）子どもの状況 ･･････ 10
（７）転入前・転入後の居住地 ･･････ 10
（８）転入前の住所での居住年数 ･･････ 11
（９）勤務地・通学地 ･･････ 12
（10）転入前・転入後の住宅所有関係 ･･････ 13
（11）転入のきっかけ ･･････ 14
（12）転入先に伊勢原市を選んだ理由 ･･････ 17
（13）伊勢原市以外での転入先の検討 ･･････ 19
（14）自由意見 ･･････ 20
２．「転出」に関するアンケート調査の結果 ･･････ 22
（１）性別 ･･････ 22
（２）年齢 ･･････ 22
（３）職業 ･･････ 23
（４）国籍 ･･････ 23
（５）転出前・転出後の家族構成 ･･････ 24
（６）子どもの状況 ･･････ 25
（７）転出前・転出後の居住地 ･･････ 25
（８）転出前の住所での居住年数 ･･････ 26
（９）勤務地・通学地 ･･････ 27
（10）転出前・転出後の住宅所有関係 ･･････ 28
（11）転出のきっかけ ･･････ 29
（12）転出先の市町村を選んだ理由 ･･････ 32
（13）伊勢原市内での転居の検討 ･･････ 34
（14）伊勢原市の住み心地 ･･････ 35
（15）伊勢原市への再居住意向 ･･････ 39
（16）自由意見 ･･････ 42

第３章　調査結果の考察 ･･ 45
１．転入・転出状況の概観 ･･ 47
（１）転入・転出者の年代の比較 ･･ 47
（２）転入・転出による世帯構成の変化 ･･････････････････････････････････････ 48
（３）転入・転出による住居形態の変化 ･･････････････････････････････････････ 49
２．転入・転出要因の比較 ･･ 50
（１）転入・転出のきっかけの比較 ･･ 50
（２）転入・転出先市町村を選んだ理由の比較 ･･････････････････････････････ 51
３．個別分析 ･･ 52
（１）子どもをもつ家庭の分析 ･･ 52
（２）近隣自治体との関係性の分析 ･･ 55
４．伊勢原市への評価の経年比較 ･･ 58
（１）「伊勢原市の住み心地」について ･･････････････････････････････････････ 58
（２）「伊勢原市にもう一度住みたいか」について ･･････････････････････････ 59

第４章　使用した調査票 ･･ 61

第１章　調査の概要

１．調査の目的

市内への転入者及び市外への転出者を対象に転入・転出理由及び本市に対する評価を把握し、今後の施策立案等の基礎資料として活用するため、アンケート調査を実施した。

２．調査概要

調査方法：戸籍住民課窓口において、転入届又は転出届を提出する方にアンケート調査票を配布し、回収箱に投函してもらう自記式で実施した。

調査期間：令和元年８月～11月（４か月間）

＜回収状況＞

調査名	調査対象	有効回収数
「転入」に関するアンケート調査	戸籍住民課窓口において、転入届又は転出届を提出する方	330
「転出」に関するアンケート調査		445

３．調査項目

「転入」に関するアンケート調査	「転出」に関するアンケート調査
□回答者属性（性別、年齢、職業、国籍） □転入前・転入後の家族構成 □子どもの状況 □転入前・転入後の居住地 □転入前の住所での居住年数 □勤務地・通学地 □転入前・転入後の住宅所有関係 □転入のきっかけ □転入先に伊勢原市を選んだ理由 □伊勢原市以外での転入先の検討 □自由意見	□回答者属性（性別、年齢、職業、国籍） □転出前・転出後の家族構成 □子どもの状況 □転出前・転出後の居住地 □転出前の住所での居住年数 □勤務地・通学地 □転出前・転出後の住宅所有関係 □転出のきっかけ □転出先の市町村を選んだ理由 □伊勢原市内での転居の検討 □伊勢原市の住み心地 □伊勢原市への再居住意向 □自由意見

４．調査結果を見る上での注意事項

・本文、表、グラフなどに使われる「ｎ」は、各設問に対する回答者数である。

・百分率（％）の計算は、小数第２位を四捨五入し、小数第１位まで表示した。単数回答（１つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響により、％を足し合わせて100％にならない場合がある。

・複数回答（２つ以上選んでよい問）においては、％の合計が100％を超える場合がある。

・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。

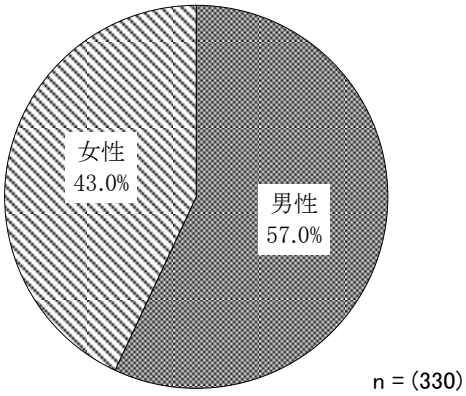
・回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合がある。

・表中の網掛け部分は、各分析軸において割合が最も多い項目である。

第２章　調査結果

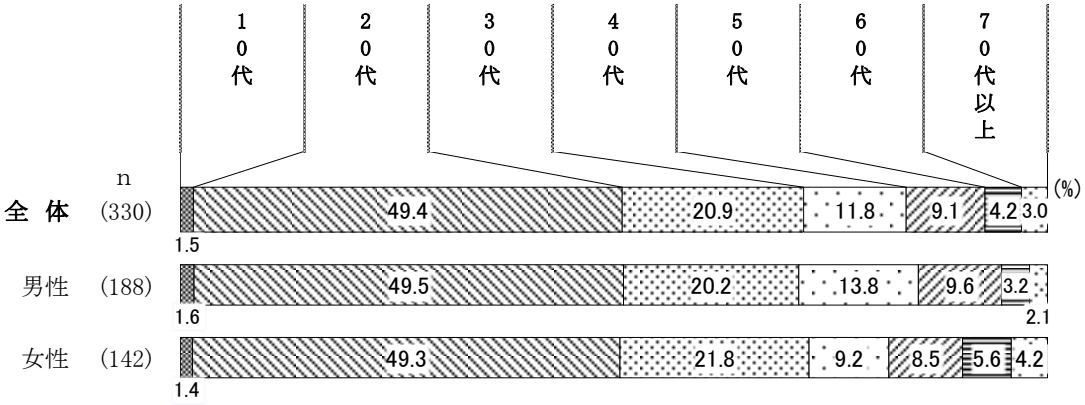
１．「転入」に関するアンケート調査の結果

（１）性別



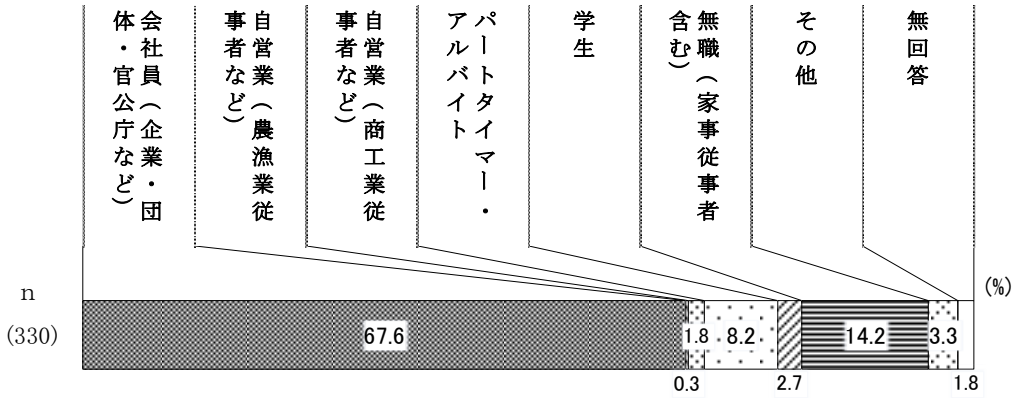
性別は「男性」が57.0％（n=188）、「女性」が43.0％（n=142）であった。

（２）年齢



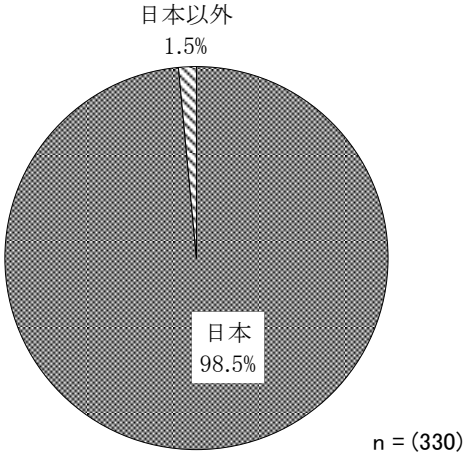
年齢は「20代」が最も多く49.4％（n=163）、次いで「30代」が20.9％（n=69）、「40代」が11.8％（n=39）となっている。性別で大きな差はみられない。

（３）職業



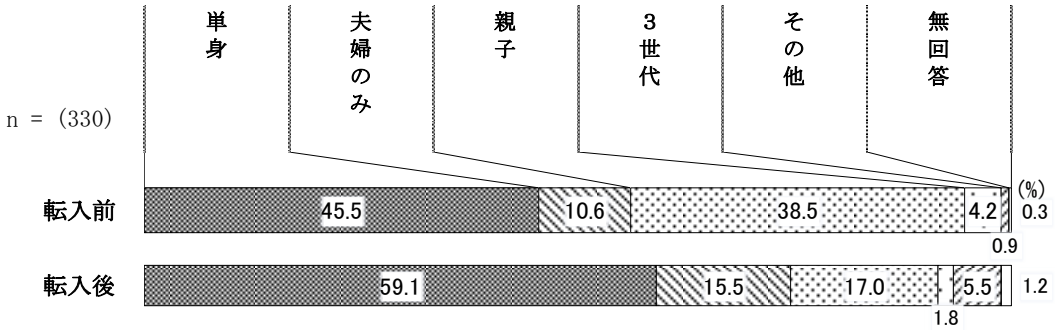
職業は「会社員（企業・団体・官公庁など）」が67.6％（n=223）、「無職（家事従事者含む）」が14.2％（n=47）、「パートタイマー・アルバイト」が8.2％（n=27）となっている。

（４）国籍



国籍は「日本」が98.5％（n=325）、「日本以外」が1.5％（n=5）となっている。

（５）転入前・転入後の家族構成

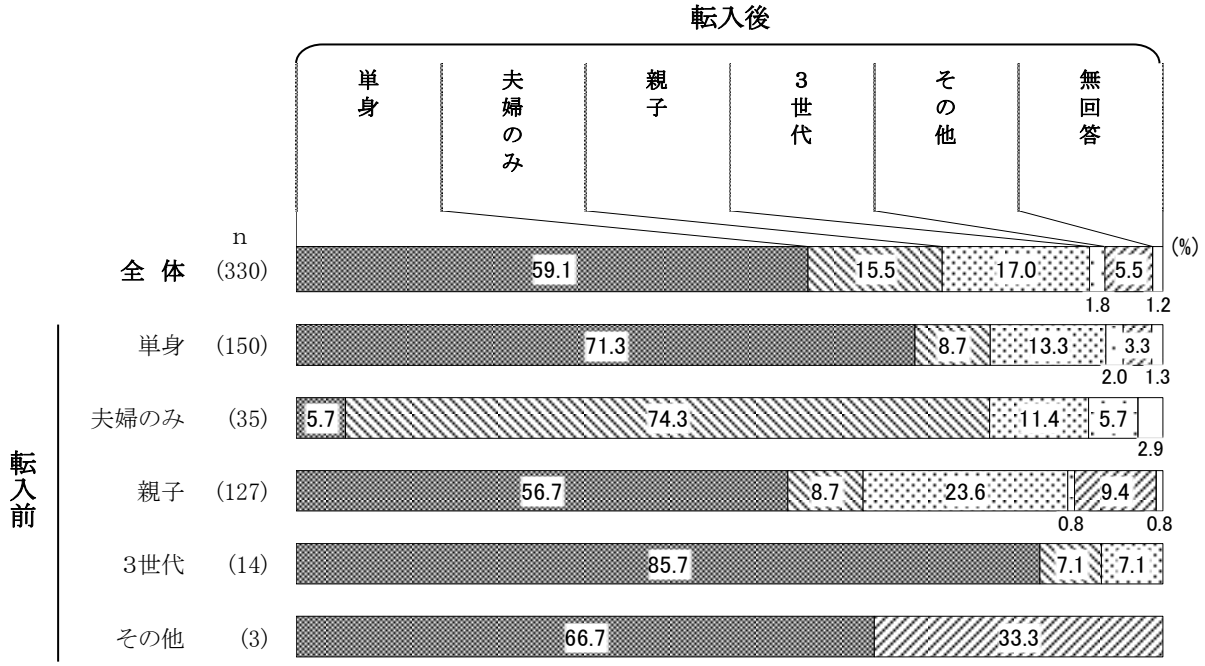


転入前の家族構成は、「単身」が45.5％、「親子」が38.5％と、それぞれ４割を占め、「夫婦のみ」が10.6％、「３世代」が4.2％となっている。

転入後の家族構成は、「単身」が59.1％を占め、「親子」が17.0％、「夫婦のみ」が15.5％、「３世代」が1.8％となっている。

転入前後を比較すると、「親子」が減少し、「単身」が増加している。

■転入後の家族構成・転入前の家族構成別

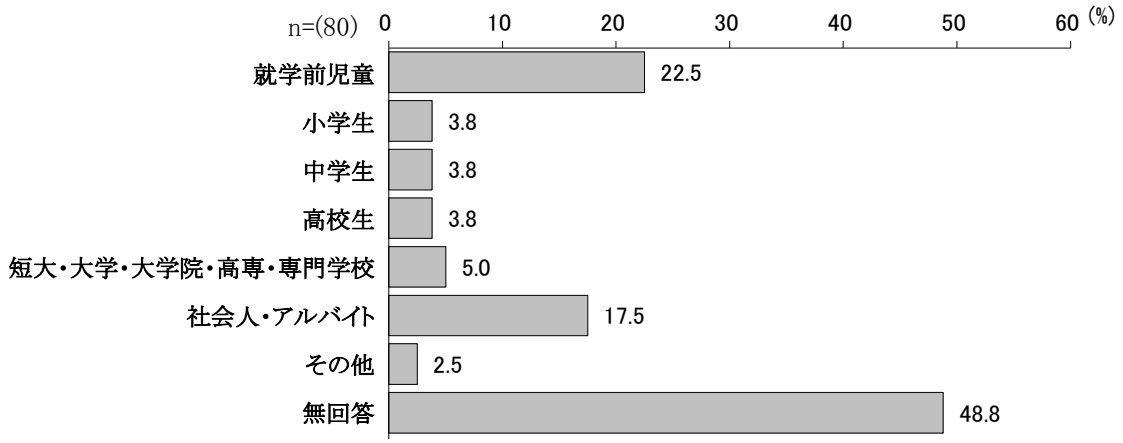


転入前後の家族構成を比べると、転入前「単身」→転入後「単身」は71.3％、転入前「夫婦のみ」→転入後「夫婦のみ」は74.3％となり、家族構成に変化がみられないケースが多い。

一方、転入前「親子」→転入後「単身」は56.7％と多くなっている。

（６）子どもの状況

ご世帯にお子さんがいらっしゃる場合、次のどれに当てはまりますか
（あてはまる番号全てに○）



子どもの状況は、「就学前児童」が22.5％と最も多く、次いで「社会人・アルバイト」が17.5％となっている。

（７）転入前・転入後の居住地

転入前・転入後のお住まいは

【転入前】

○都道府県名

n＝(330)	件数	割合(%)
神奈川県	187	56.7
東京都	34	10.3
埼玉県	14	4.2
千葉県	8	2.4

※　神奈川県・東京都以外の件数が少ないため、1都3県のみ表示

○市町村名

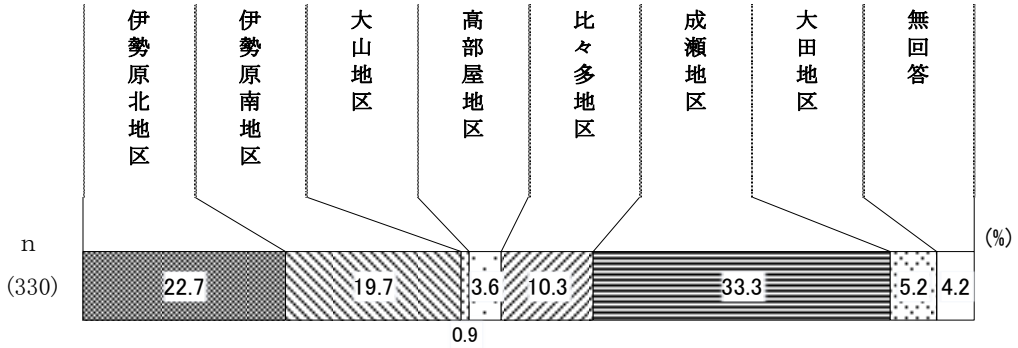
n＝(235)	件数	割合(%)
横浜市	32	13.6
厚木市	32	13.6
平塚市	24	10.2
秦野市	18	7.7
相模原市	16	6.8
海老名市	11	4.7

※　10件以上の市町村のみ表示

転入前に居住していた都道府県は、「神奈川県」が56.7％と半数を超え、「東京都」が10.3％、「埼玉県」が4.2％となっている。

転入前に居住していた市町村は、「横浜市」と「厚木市」がそれぞれ13.6％、「平塚市」が10.2％、「秦野市」が7.7％、「相模原市」が6.8％、海老名市が4.7％となっている。隣接３市（厚木市、秦野市、平塚市）からの転入が31.5％を占めており、隣接市の中では「厚木市」からの転入が最も多い。

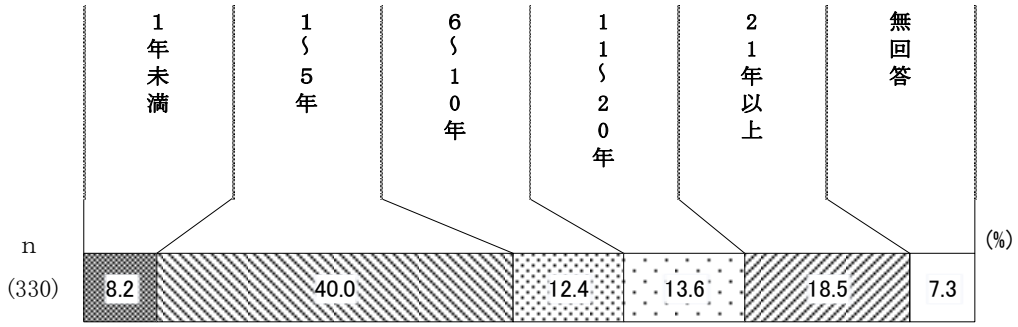
【転入後】



転入後の居住地は、「成瀬地区」が33.3％、「伊勢原北地区」が22.7％、「伊勢原南地区」が19.7％となっている。伊勢原北地区・南地区への転入が42.4％を占めており、成瀬地区を含む上位３地区で７割以上となっている。

（８）転入前の住所での居住年数

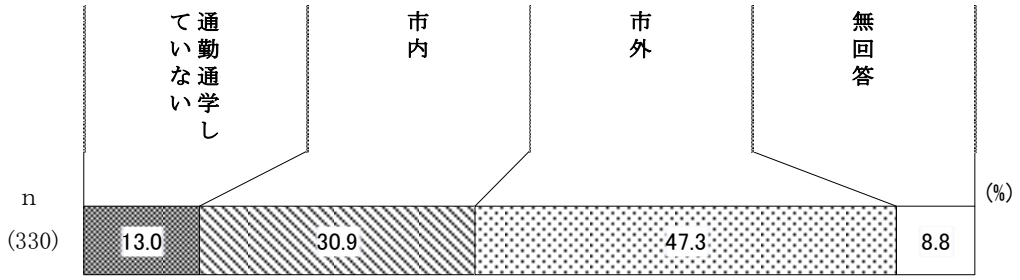
転入前のご住所の居住年数は



転入前の居住年数は、「１～５年」が40.0％と多く、「１年未満」8.2％をあわせた約半数が５年以内となっている。一方、長期居住では「21年以上」が18.5％、「11～20年」が13.6％、「６～10年」が12.4％となっている。

（９）勤務地・通学地

勤務地・通学地は



勤務地・通学地は「市外」が47.3％と半数近くを占め、「市内」が30.9％となっている。

○市外・都道府県

n＝(156)	件数	割合(%)
神奈川県	118	75.6
東京都	17	10.9

※　5件以上の都道府県のみ表示

○市外・市町村

n＝(135)	件数	割合(%)
厚木市	56	41.5
平塚市	9	6.7
海老名市	8	5.9
秦野市	8	5.9
相模原市	8	5.9
横浜市	7	5.2

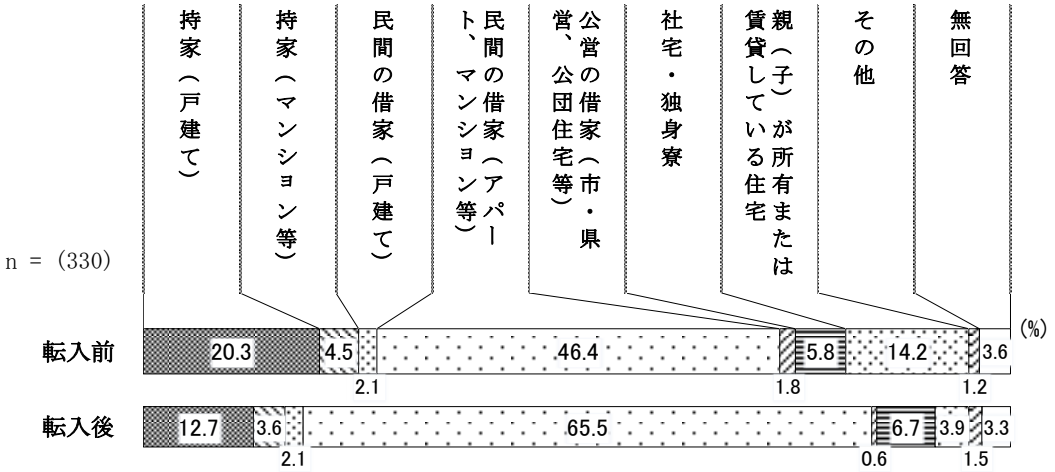
※　5件以上の市町村のみ表示

市外の勤務・通学している都道府県は、「神奈川県」が75.6％と特に多く、「東京都」が10.9％となっている。

市外の勤務・通学している市町村は、「厚木市」が41.5％と多く、「平塚市」が6.7％、「海老名市」、「秦野市」、「相模原市」がそれぞれ5.9％、「横浜市」が5.2％となっている。隣接３市（厚木市、秦野市、平塚市）への通勤・通学で54.1％と半数を超える。

（10）転入前・転入後の住宅所有関係

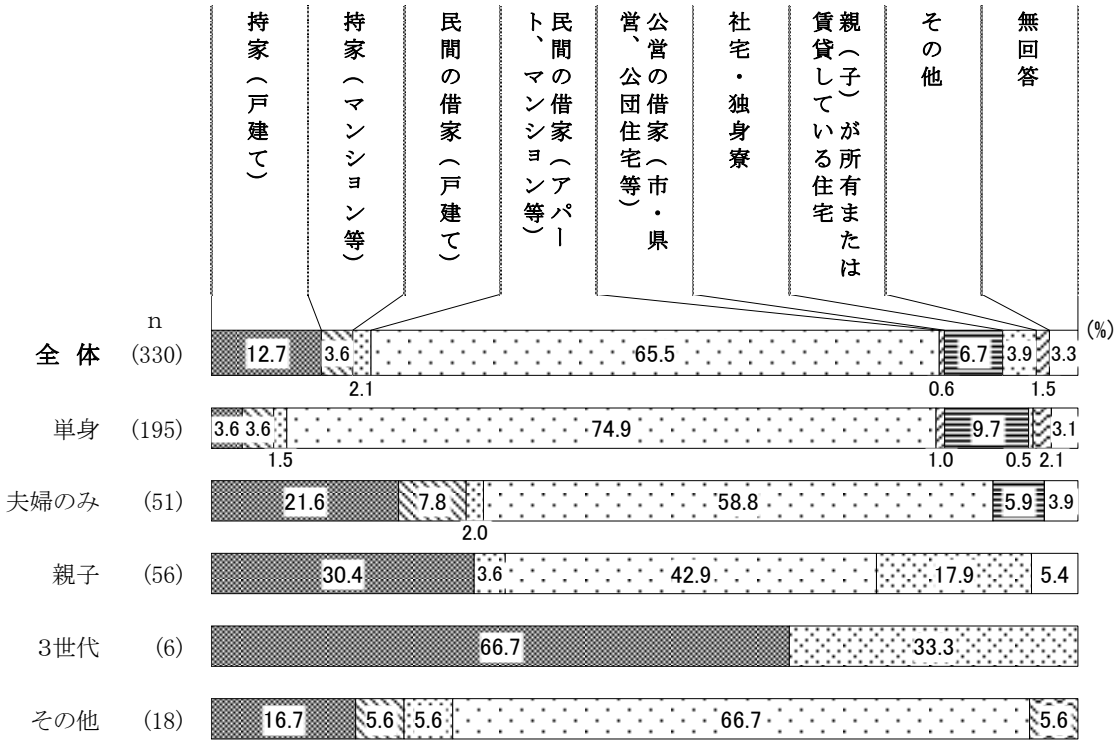
転入前・転入後の住宅の所有関係は



転入前の住宅の所有関係は、「民間の借家（アパート、マンション等）」が46.4％、「持家（戸建て）」が20.3％、「親（子）が所有または賃貸している住宅」が14.2％となっている。

転入後の住宅の所有関係は、「民間の借家（アパート、マンション等）」が65.5％、「持家（戸建て）」が12.7％、「社宅・独身寮」が6.7％となっている。

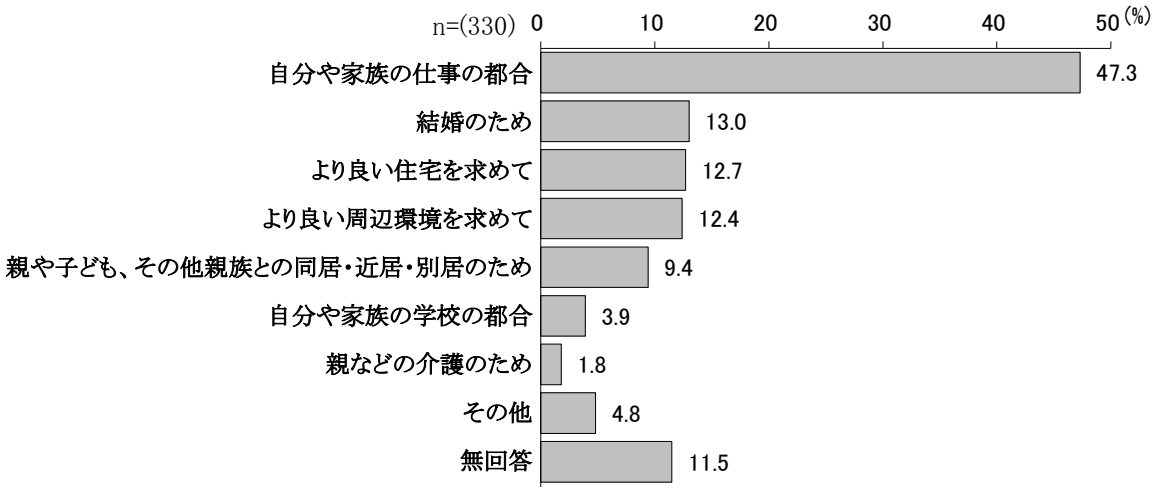
■転入後の住宅所有関係・転入後の家族構成別



転入後の家族構成別にみると、単身では「民間の借家（アパート、マンション等）」が74.9％と多い。夫婦のみや親子でも「民間の借家（アパート、マンション等）」は多いが、加えて、「持家（戸建て）」も多くなっている。

（11）転入のきっかけ

伊勢原市へ転入されることになった最も大きなきっかけは何ですか
（あてはまる番号全てに○、内容にも○）



伊勢原市へ転入することになったきっかけは、「自分や家族の仕事の都合」が47.3％と最も多く、次いで「結婚のため」が13.0％、「より良い住宅を求めて」12.7％、「より良い周辺環境を求めて」12.4％などとなっている。

■性別

単位：％

	調査数（件）	自分や家族の仕事の都合	結婚のため	より良い住宅を求めて	より良い周辺環境を求めて	親や子ども、その他親族との同居・近居・別居のため	自分や家族の学校の都合	親などの介護のため	その他	無回答
全　体	330	47.3	13.0	12.7	12.4	9.4	3.9	1.8	4.8	11.5
男性	188	55.9	9.6	11.7	11.2	6.9	2.1	1.6	3.2	10.6
女性	142	35.9	17.6	14.1	14.1	12.7	6.3	2.1	7.0	12.7

※表中の網掛け部分は、各分析軸において割合が最も多い項目

性別でみると、男性では「自分や家族の仕事の都合」が55.9％と特に多く、女性では「結婚のため」が17.6％、「親や子ども、その他親族との同居・近居・別居のため」が12.7％と比較的多くなっている。

■年齢別

単位：%

	調査数（件）	自分や家族の仕事の都合	結婚のため	より良い住宅を求めて	より良い周辺環境を求めて	親や子ども、その他親族との同居・近居・別居のため	自分や家族の学校の都合	親などの介護のため	その他	無回答
全　体	330	47.3	13.0	12.7	12.4	9.4	3.9	1.8	4.8	11.5
10代	5	40.0	－	－	－	20.0	20.0	－	20.0	－
20代	163	53.4	16.6	11.0	9.8	6.1	3.7	－	4.3	8.0
30代	69	50.7	20.3	15.9	13.0	8.7	2.9	1.4	1.4	10.1
40代	39	56.4	2.6	20.5	10.3	7.7	10.3	2.6	－	15.4
50代	30	33.3	3.3	13.3	26.7	10.0	－	6.7	3.3	16.7
60代	14	－	－	7.1	14.3	42.9	－	14.3	14.3	35.7
70代以上	10	－	－	－	20.0	20.0	－	－	40.0	20.0

※表中の網掛け部分は、各分析軸において割合が最も多い項目

年齢別にみると、「自分や家族の仕事の都合」は50代以下の層で多くなっている。「結婚のため」は20代・30代、「より良い住宅を求めて」は30代・40代、「より良い周辺環境を求めて」は50代で多くなっている。

■転入後の家族構成別

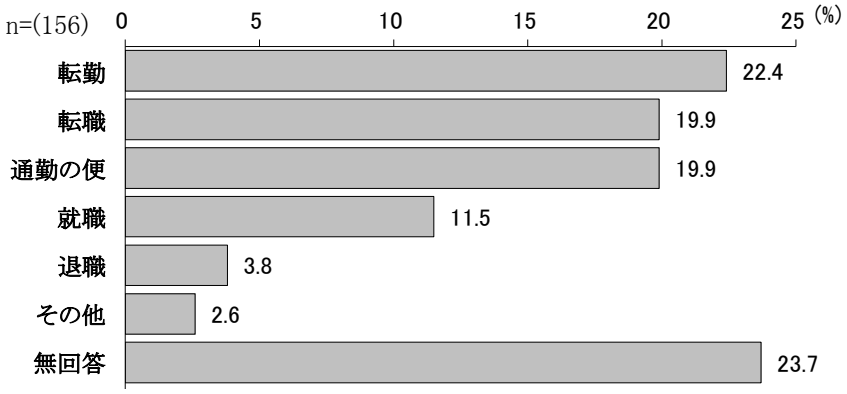
単位：%

	調査数（件）	自分や家族の仕事の都合	結婚のため	より良い住宅を求めて	より良い周辺環境を求めて	親や子ども、その他親族との同居・近居・別居のため	自分や家族の学校の都合	親などの介護のため	その他	無回答
全　体	330	47.3	13.0	12.7	12.4	9.4	3.9	1.8	4.8	11.5
単身	195	59.5	6.2	10.8	11.8	5.1	4.1	0.5	5.1	10.8
夫婦のみ	51	19.6	35.3	23.5	15.7	5.9	－	5.9	3.9	11.8
親子	56	39.3	3.6	12.5	12.5	21.4	5.4	3.6	7.1	16.1
3世代	6	16.7	33.3	－	16.7	16.7	－	－	－	33.3
その他	18	33.3	44.4	5.6	5.6	27.8	11.1	－	－	－

※表中の網掛け部分は、各分析軸において割合が最も多い項目

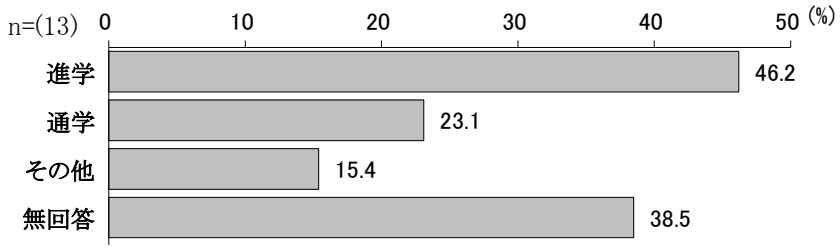
転入後の家族構成別にみると、「自分や家族の仕事の都合」は単身で59.5%と多く、親子でも39.3%と多い。夫婦のみでは「結婚のため」が35.3%と多い。また、夫婦のみでは「より良い住宅を求めて」や「より良い周辺環境を求めて」も比較的多くなっている。

【自分や家族の仕事の都合：内容】



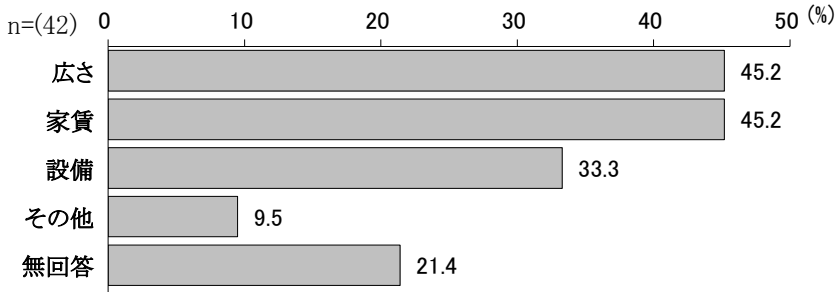
「自分や家族の仕事の都合」と回答した方の具体的な内容は、「転勤」が22.4％と最も多く、次いで「転職」と「通勤の便」がそれぞれ19.9％、「就職」が11.5％などとなっている。

【自分や家族の学校の都合：内容】



「自分や家族の学校の都合」と回答した方の具体的な内容は、「進学」が46.2％と最も多く、次いで「通学」が23.1％となっている。

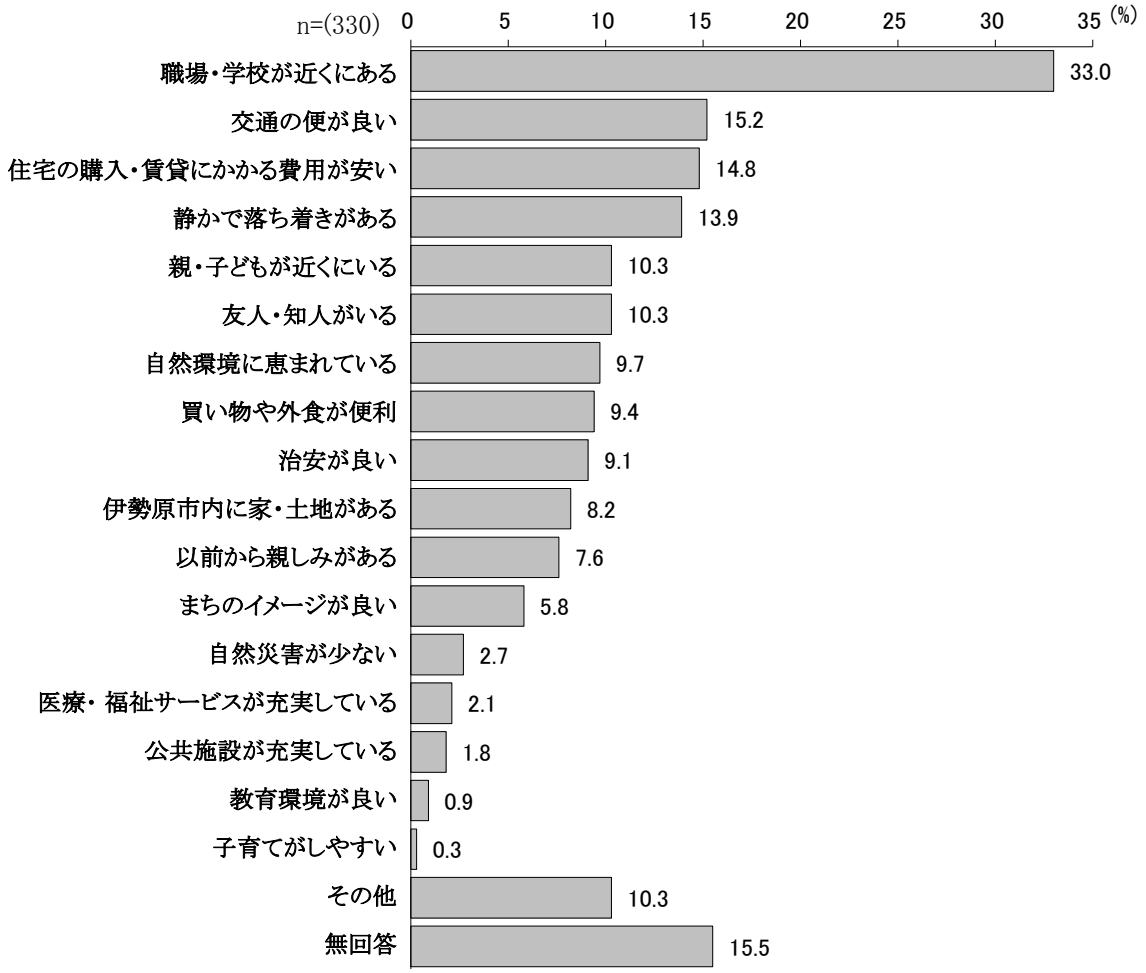
【より良い住宅を求めて：内容】



「より良い住宅を求めて」と回答した方の具体的な内容は、「広さ」と「家賃」がそれぞれ45.2％と多く、次いで「設備」が33.3％となっている。

（12）転入先に伊勢原市を選んだ理由

転入先として、伊勢原市を選ばれた理由は何ですか（あてはまる番号全てに○）



転入先として、伊勢原市を選んだ理由は、「職場・学校が近くにある」が33.0％と最も多く、次いで「交通の便が良い」が15.2％、「住宅の購入・賃貸にかかる費用が安い」14.8％、「静かで落ち着きがある」13.9％などとなっている。

■性別

単位：％

	調査数（件）	職場・学校が近くにある	交通の便が良い	住宅の購入・賃貸にかかる費用が安い	静かで落ち着きがある	親・子どもが近くにいる	友人・知人がいる	自然環境に恵まれている	買い物や外食が便利	治安が良い	伊勢原市内に家・土地がある	以前から親しみがある	まちのイメージが良い	自然災害が少ない	医療・福祉サービスが充実している	公共施設が充実している	教育環境が良い	子育てがしやすい	その他	無回答
全　体	330	33.0	15.2	14.8	13.9	10.3	10.3	9.7	9.4	9.1	8.2	7.6	5.8	2.7	2.1	1.8	0.9	0.3	10.3	15.5
男性	188	35.6	16.5	16.5	15.4	8.0	10.1	8.5	9.0	8.5	5.3	9.0	5.9	2.7	2.1	2.1	1.1	－	9.6	14.9
女性	142	29.6	13.4	12.7	12.0	13.4	10.6	11.3	9.9	9.9	12.0	5.6	5.6	2.8	2.1	1.4	0.7	0.7	11.3	16.2

※表中の網掛け部分は、各分析軸において割合が最も多い項目

性別でみると、男女ともに「職場・学校が近くにある」が多くなっている。

■転入後の家族構成別

単位：%

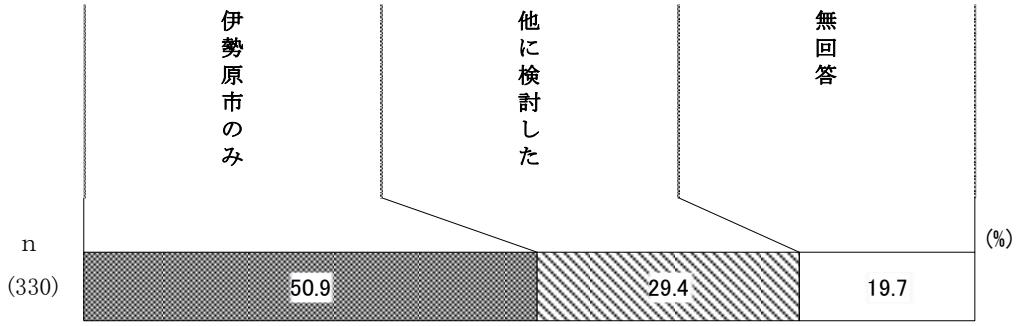
	調査数（件）	職場・学校が近くにある	交通の便が良い	住宅の購入・賃貸にかかる費用が安い	静かで落ち着きがある	親・子どもが近くにいる	友人・知人がいる	自然環境に恵まれている	買い物や外食が便利	治安が良い	伊勢原市内に家・土地がある	以前から親しみがある	まちのイメージが良い	自然災害が少ない	医療・福祉サービスが充実している	公共施設が充実している	教育環境が良い	子育てがしやすい	その他	無回答
全　体	330	33.0	15.2	14.8	13.9	10.3	10.3	9.7	9.4	9.1	8.2	7.6	5.8	2.7	2.1	1.8	0.9	0.3	10.3	15.5
単身	195	43.1	16.4	15.9	14.9	3.1	11.8	8.7	9.2	10.8	3.1	7.7	6.7	2.1	2.1	2.1	1.0	－	9.2	14.9
夫婦のみ	51	13.7	13.7	17.6	15.7	17.6	7.8	15.7	13.7	7.8	9.8	2.0	5.9	5.9	5.9	2.0	2.0	2.0	15.7	17.6
親子	56	17.9	10.7	8.9	8.9	26.8	10.7	8.9	3.6	5.4	23.2	10.7	3.6	1.8	－	－	－	－	7.1	16.1
3世代	6	－	16.7	－	16.7	33.3	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	－	－	－	－	－	－	66.7
その他	18	33.3	22.2	22.2	5.6	5.6	－	5.6	16.7	5.6	11.1	5.6	－	5.6	－	5.6	－	－	16.7	－

※表中の網掛け部分は、各分析軸において割合が最も多い項目

転入後の家族構成別にみると、単身では「職場・学校が近くにある」が43.1％と多くなっている。夫婦のみでは「住宅の購入・賃貸にかかる費用が安い」「親・子どもが近くにいる」がともに17.6％、「静かで落ち着きがある」「自然環境に恵まれている」がともに15.7％など、多くの理由があげられている。親子では「親・子どもが近くにいる」が26.8％、「伊勢原市内に家・土地がある」が23.2％と多い。

（13）伊勢原市以外での転入先の検討

転入先として、伊勢原市以外のまちを検討しましたか



転入先として、伊勢原市以外のまちを検討したかどうかは、「伊勢原市のみ」が50.9％と半数を占め、「他に検討した」は29.4％であった。

○他に検討した市町村

n＝(97)	件数	割合(%)
厚木市	49	50.5
海老名市	10	10.3
秦野市	10	10.3
平塚市	9	9.3

※　5件以上の市町村のみ表示

転入先として検討した他の市町村は、「厚木市」が50.5％と多く、「海老名市」「秦野市」がそれぞれ10.3％、「平塚市」が9.3％となっている。隣接３市（厚木市、秦野市、平塚市）で７割を超えている。

（14）自由意見

今後の伊勢原市のまちづくりについて、ご意見がありましたらご自由にお書きください

今後の市のまちづくりについて意見を聞いたところ、36件の意見をいただいた。１人で２つ以上の内容を記述している場合は、延べ件数としてカウントした。

◆福祉・子育て（９件）

・子どもを育てやすいまちになってくれれば嬉しいです。
・赤字続きの財政難だと聞きましたが福祉の面、子どもや年寄りにだけはもっともっと考慮して頂きたい。
・介護がしやすいまちづくりにしてほしい。
・老人に優しいまちづくりを。
・子どもに優しい市にどんどんなってくれると嬉しいです。
・教育や子育ての支援が充実しているとありがたいです。
・子どもや女性にやさしいまちづくりを期待しています。
・保育園等を増やしてもらいたい（子育てのため）。医療費助成の年齢を18歳までにしてもらいたい。
・授乳、おむつ替えスペースが増えてほしい。

◆行政運営全般（６件）

・平日の仕事帰りにも市役所に行くことが出来るようにしてほしい。
・ＨＰの転入手続きサイトに必要書類を全てあげてほしい。（マイナンバー書類の記載がない）
・ホームページで情報が少し探しづらかったです。例：転入や市役所の開庁時間など。
・市役所駐車場が無料の為、協同病院に行く人が停めるらしい。海老名市のように先にチェックできる対策をとるか、有料にすべきです。（100円でもいいので）いつもいっぱいなのが気になります。
・クルリンのイラスト、もっと色々動きをつけてほしい。
・クルリンのＰＲ。

◆生活環境（６件）

・駅前や市役所の付近を歩くと下水道の匂いが気になる事が何度かありました。
・資源ごみを毎週回収してほしい。
・歩きたばこを厳しく取り締まってほしいと考えております。
・住地域のゴミ捨て場がわからない。
・都市ガス、電柱の地中化をお願いします。
・道がせまい。

◆商業・再開発（５件）

・駅前再開発希望。
・駅前に24時間営業のコンビニがあると良いなと思います。
・大きな商業施設があると良いです。（イオンモール、ららぽーとなど）
・コンビニ（ミニストップ）がたくさんほしいです。
・映画館がほしい。

◆自然・観光（３件）

・大山の活性化。
・自然豊かなままで便利な暮らしができたら良いです。
・自然豊かなまちづくりをお願いします。

◆交通（１件）

・バスが少ない。

◆防犯（１件）

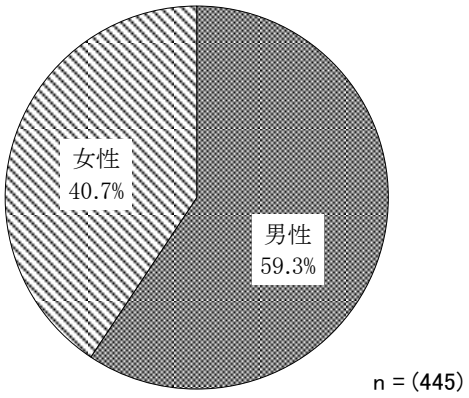
・治安が気になっていましたので、（引っ越してきて）良かったと思います。

◆その他（５件）

・２年間、鶴見に住んでみましたが、改めて伊勢原の治安の良さ、居心地の良さを感じました。今後とも住みよいまちであって欲しいと思います。
・伊勢原から親の介護のために東村山に転居しました。私は大山が大好きで、また近くで山を見ながら生活できると思うと、親は東村山で施設に入りましたが、気持ちがなぐさめられます。
・大企業がある市に住んでいたが、とても設備が立派だった。金がないので（伊勢原市には）。
・「かながわライフノート」というものをいただいたので、後で読むのが楽しみです。ありがとうございました。
・同性婚やパートナーシップ法の実現。

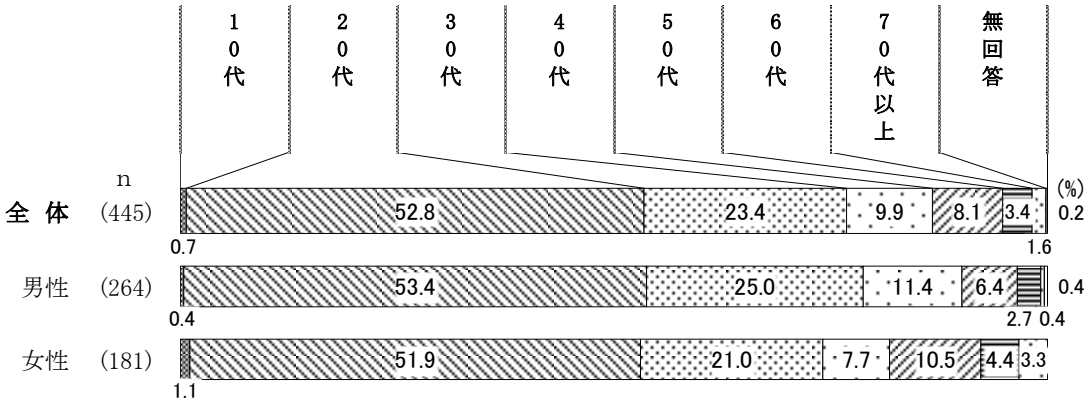
２．「転出」に関するアンケート調査の結果

（１）性別



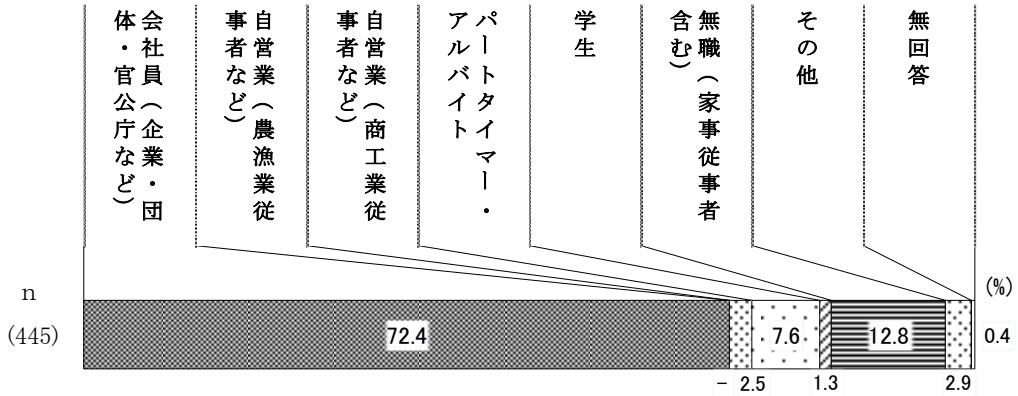
性別は「男性」が59.3％（n=264）、「女性」が40.7％（n=181）であった。

（２）年齢



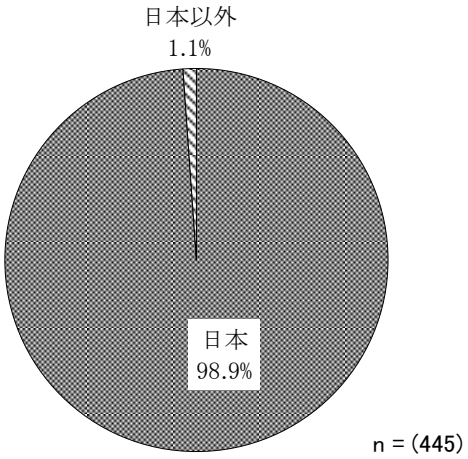
年齢は「20代」が最も多く52.8％（n=235）、次いで「30代」が23.4％（n=104）、「40代」が9.9％（n=44）となっている。性別で大きな差はみられない。

（３）職業



職業は「会社員（企業・団体・官公庁など）」が72.4％（n=322）、「無職（家事従事者含む）」が12.8％（n=57）、「パートタイマー・アルバイト」が7.6％（n=34）となっている。

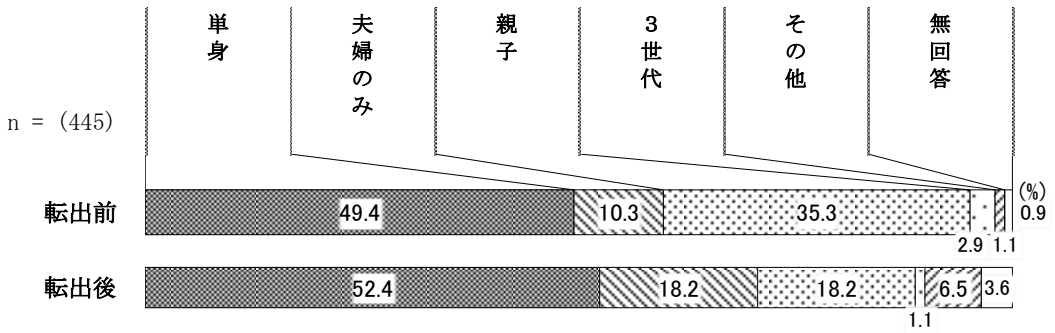
（４）国籍



国籍は「日本」が98.9％（n=440）、「日本以外」が1.1％（n=5）となっている。

（５）転出前・転出後の家族構成

転出前・転出後の家族構成は

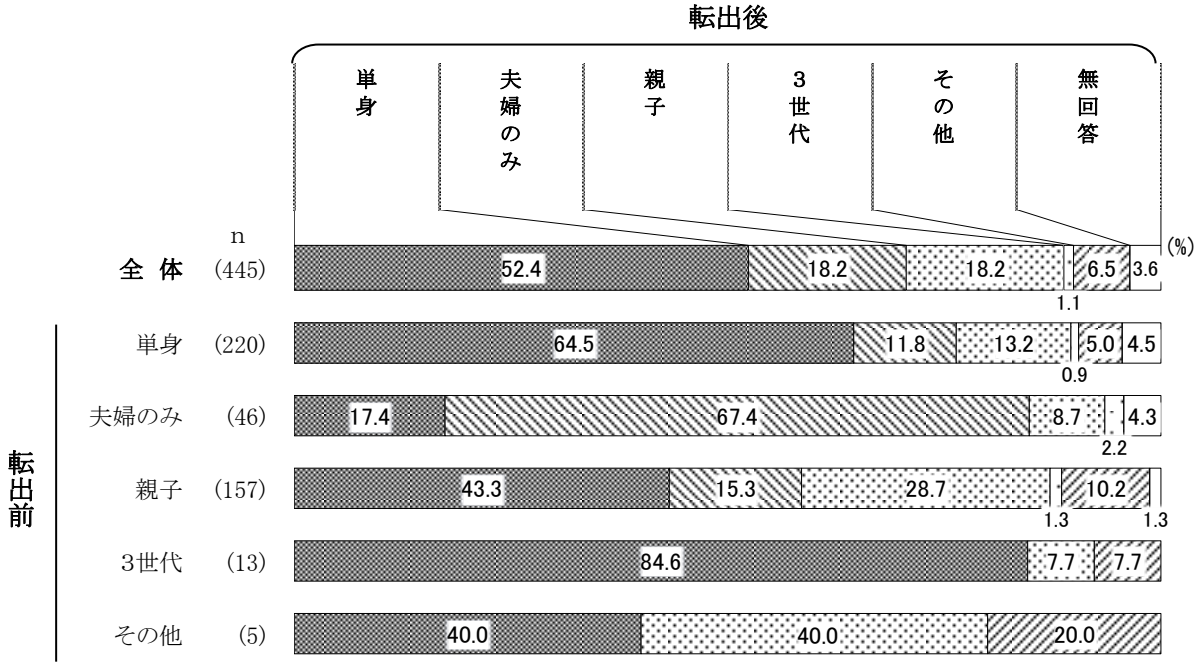


転出前の家族構成は、「単身」が49.4％と約半数を占め、「親子」が35.3％、「夫婦のみ」が10.3％、「３世代」が2.9％となっている。

転出後の家族構成は、「単身」が52.4％と半数以上を占め、「夫婦のみ」と「親子」がそれぞれ18.2％、「３世代」が1.1％となっている。

転出前後を比較すると、「親子」が減少し、「夫婦のみ」が増加している。

■転出後の家族構成・転出前の家族構成別

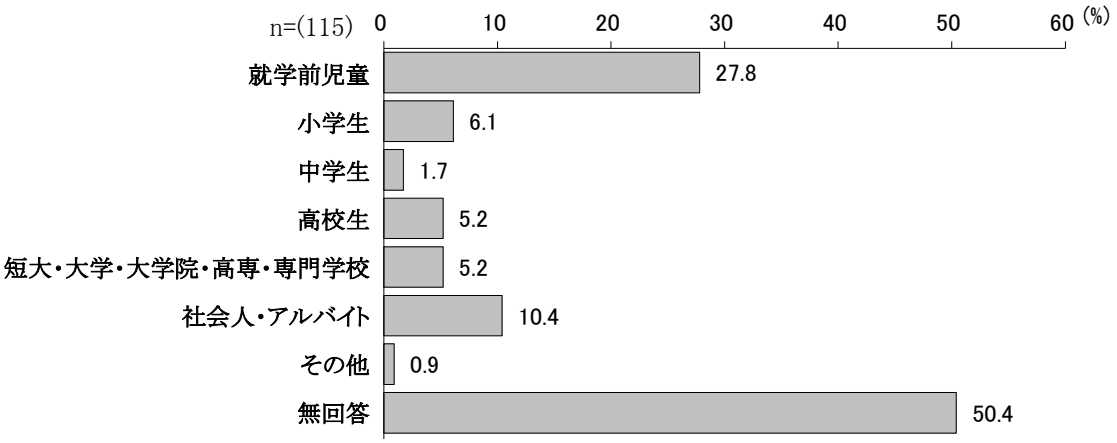


転出前後の家族構成を比べると、転出前「単身」→転出後「単身」は64.5％、転出前「夫婦のみ」→転出後「夫婦のみ」は67.4％となり、家族構成に変化がみられないケースが多い。

一方、転出前「親子」→転出後「単身」が43.3％と多くなっている。

（６）子どもの状況

ご世帯にお子さんがいらっしゃる場合、次のどれに当てはまりますか
（あてはまる番号全てに○）

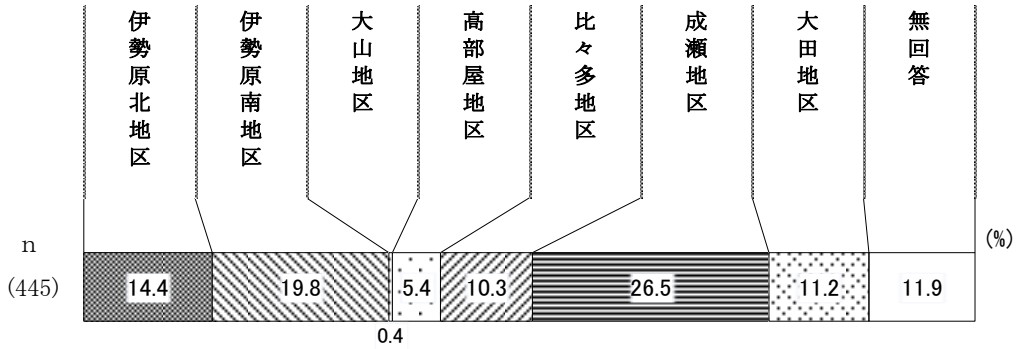


子どもの状況は、「就学前児童」が27.8％と最も多く、次いで「社会人・アルバイト」が10.4％となっている。

（７）転出前・転出後の居住地

転出前・転出後のお住まいは

【転出前】



転出前の居住地は、「成瀬地区」が26.5％、「伊勢原南地区」が19.8％、「伊勢原北地区」が14.4％となっている。伊勢原北地区・南地区からの転出が34.2％を占めており、成瀬地区を含む上位３地区で６割以上となっている。

【転出後】

○都道府県名

n＝(445)	件数	割合(%)
神奈川県	270	60.7
東京都	61	13.7
千葉県	12	2.7
埼玉県	8	1.8

※　神奈川県･東京都以外の件数が少ないため、1都3県のみ表示

○市町村名

n＝(351)	件数	割合(%)
厚木市	51	14.5
海老名市	32	9.1
相模原市	28	8.0
横浜市	26	7.4
川崎市	25	7.1
平塚市	22	6.3
秦野市	21	6.0
座間市	12	3.4
大和市	10	2.8
町田市	10	2.8

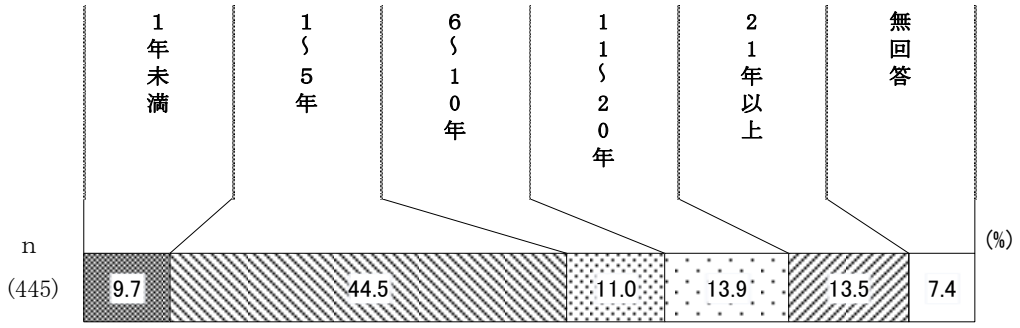
※　10件以上の市町村のみ表示

転出後に居住する都道府県は、「神奈川県」が60.7%と６割を超え、「東京都」が13.7%となっている。

転出後に居住する市町村は、「厚木市」が14.5%、「海老名市」9.1%、「相模原市」8.0%、「横浜市」7.4%、「川崎市」7.1%、「平塚市」6.3%、「秦野市」6.0%と続いている。隣接３市（厚木市、秦野市、平塚市）への転出は26.8%を占め、厚木市への転出が最も多い。

（８）転出前の住所での居住年数

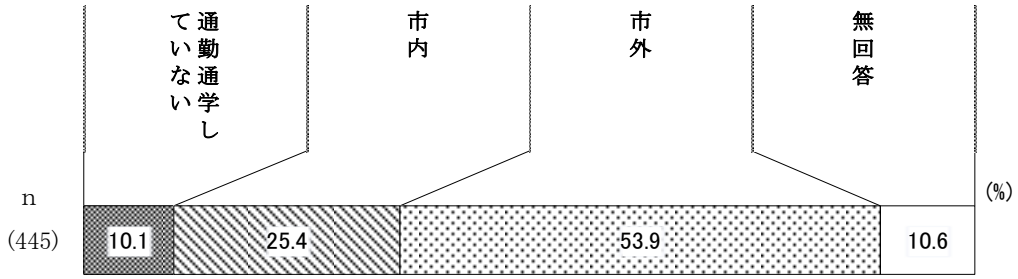
転出前のご住所の居住年数は



転出前の居住年数は、「１～５年」が44.5%と多く、「１年未満」（9.7%）をあわせた半数以上が５年以内となっている。一方、長期居住では「11～20年」が13.9%、「21年以上」が13.5%となっている。

（９）勤務地・通学地

勤務地・通学地は



勤務地・通学地は「市外」が53.9％と半数を占め、「市内」が25.4％となっている。

○市外・都道府県

n＝(240)	件数	割合(%)
神奈川県	150	62.5
東京都	56	23.3

※ 5件以上の都道府県のみ表示

○市外・市町村

n＝(206)	件数	割合(%)
厚木市	66	32.0
横浜市	16	7.8
平塚市	11	5.3
秦野市	10	4.9

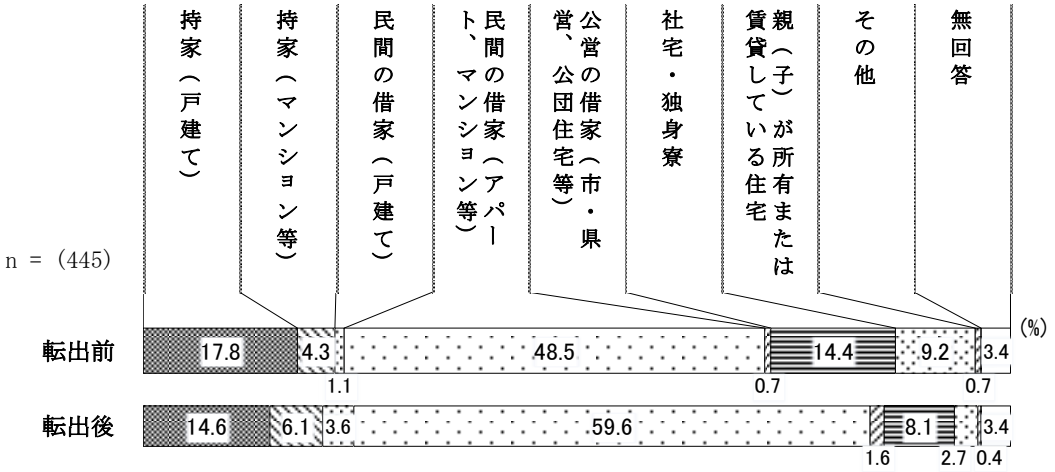
※ 10件以上の市町村のみ表示

市外の勤務・通学している都道府県は、「神奈川県」が62.5％と６割を超え、「東京都」が23.3％となっている。

市外の勤務・通学している市町村は、「厚木市」が32.0％と多く、「横浜市」7.8％、「平塚市」5.3％、「秦野市」4.9％と続いている。隣接３市（厚木市、秦野市、平塚市）への通勤・通学が42.2％となっている。

（10）転出前・転出後の住宅所有関係

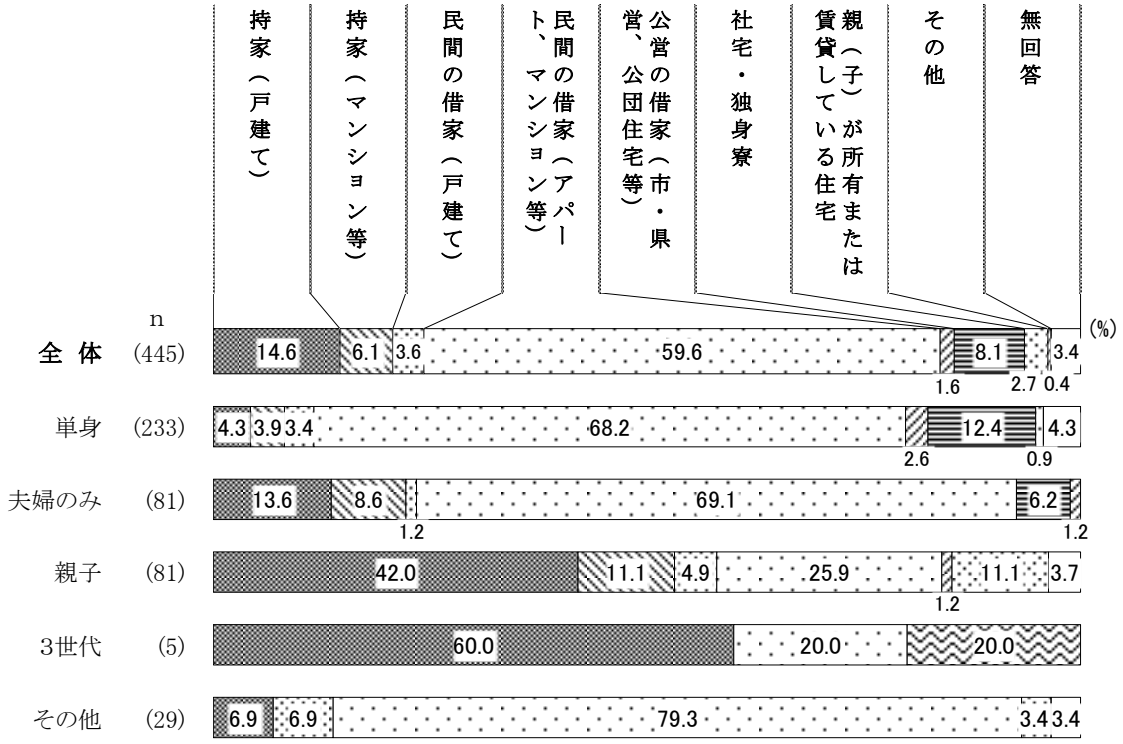
転出前・転出後の住宅の所有関係は



転出前の住宅の所有関係は、「民間の借家（アパート、マンション等）」が48.5％、「持家（戸建て）」が17.8％、「社宅・独身寮」が14.4％となっている。

転出後の住宅の所有関係は、「民間の借家（アパート、マンション等）」が59.6％、「持家（戸建て）」が14.6％、「社宅・独身寮」が8.1％となっている。

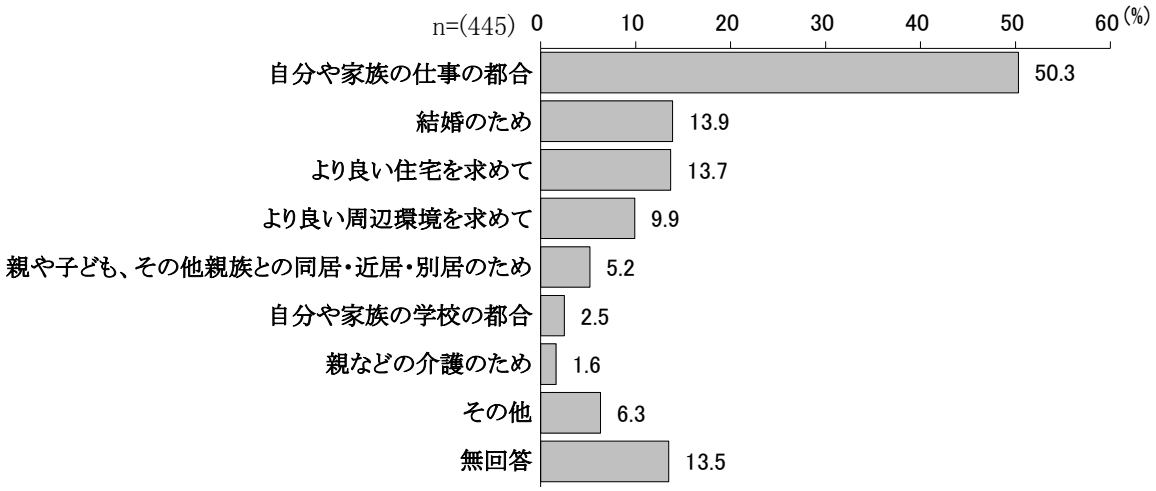
■転出後の住宅所有関係・転出後の家族構成別



転出後の家族構成別にみると、「民間の借家（アパート、マンション等）」が単身で68.2％、夫婦のみで69.1％と多い。親子では「持家（戸建て）」が42.0％と多くなっている。

（11）転出のきっかけ

伊勢原市から転出されることになった最も大きなきっかけは何ですか
（あてはまる番号全てに○、内容にも○）



伊勢原市から転出することになったきっかけは、「自分や家族の仕事の都合」が50.3％と最も多く、次いで「結婚のため」が13.9％、「より良い住宅を求めて」13.7％、「より良い周辺環境を求めて」9.9％などとなっている。

■性別

単位：％

	調査数（件）	自分や家族の仕事の都合	結婚のため	より良い住宅を求めて	より良い周辺環境を求めて	親や子ども、その他親族との同居・近居・別居のため	自分や家族の学校の都合	親などの介護のため	その他	無回答
全　体	445	50.3	13.9	13.7	9.9	5.2	2.5	1.6	6.3	13.5
男性	264	55.3	9.8	16.3	9.8	3.8	2.3	1.1	6.1	12.9
女性	181	43.1	19.9	9.9	9.9	7.2	2.8	2.2	6.6	14.4

※表中の網掛け部分は、各分析軸において割合が最も多い項目

性別でみると、男性では「自分や家族の仕事の都合」が55.3％と特に多く、「より良い住宅を求めて」も16.3％で女性よりも多くなっている。女性では「結婚のため」が19.9％と男性よりも多くなっている。

■年齢別

単位：%

	調査数（件）	自分や家族の仕事の都合	結婚のため	より良い住宅を求めて	より良い周辺環境を求めて	親や子ども、その他親族との同居・近居・別居のため	自分や家族の学校の都合	親などの介護のため	その他	無回答
全　体	445	50.3	13.9	13.7	9.9	5.2	2.5	1.6	6.3	13.5
10代	3	66.7	－	－	－	－	－	－	33.3	－
20代	235	53.2	17.9	9.4	8.5	1.7	1.3	0.4	6.8	13.2
30代	104	48.1	14.4	20.2	12.5	8.7	4.8	1.0	4.8	15.4
40代	44	50.0	4.5	15.9	11.4	9.1	4.5	2.3	9.1	13.6
50代	36	50.0	5.6	22.2	11.1	8.3	2.8	2.8	－	11.1
60代	15	26.7	6.7	13.3	13.3	13.3	－	20.0	6.7	6.7
70代以上	7	28.6	－	14.3	－	14.3	－	－	14.3	28.6

※表中の網掛け部分は、各分析軸において割合が最も多い項目

年齢別にみると、「自分や家族の仕事の都合」は50代以下の層で多くなっている。「結婚のため」は20代・30代、「より良い住宅を求めて」は30代と50代で２割台と多くなっている。

■転出後の家族構成別

単位：%

	調査数（件）	自分や家族の仕事の都合	結婚のため	より良い住宅を求めて	より良い周辺環境を求めて	親や子ども、その他親族との同居・近居・別居のため	自分や家族の学校の都合	親などの介護のため	その他	無回答
全　体	445	50.3	13.9	13.7	9.9	5.2	2.5	1.6	6.3	13.5
単身	233	61.8	5.2	12.4	11.2	2.6	1.3	0.4	7.3	14.6
夫婦のみ	81	30.9	42.0	19.8	3.7	2.5	－	1.2	1.2	13.6
親子	81	44.4	2.5	17.3	14.8	16.0	8.6	3.7	4.9	13.6
3世代	5	20.0	20.0	－	－	40.0	20.0	－	－	－
その他	29	31.0	37.9	3.4	6.9	－	－	－	17.2	10.3

※表中の網掛け部分は、各分析軸において割合が最も多い項目

転出後の家族構成別にみると、「自分や家族の仕事の都合」は単身で61.8%と多く、親子で44.4%となっている。「結婚のため」は夫婦のみで42.0%と多い。「より良い住宅を求めて」は夫婦のみや親子で、「より良い周辺環境を求めて」は親子で比較的多くなっている。

■伊勢原市内での転居の検討別

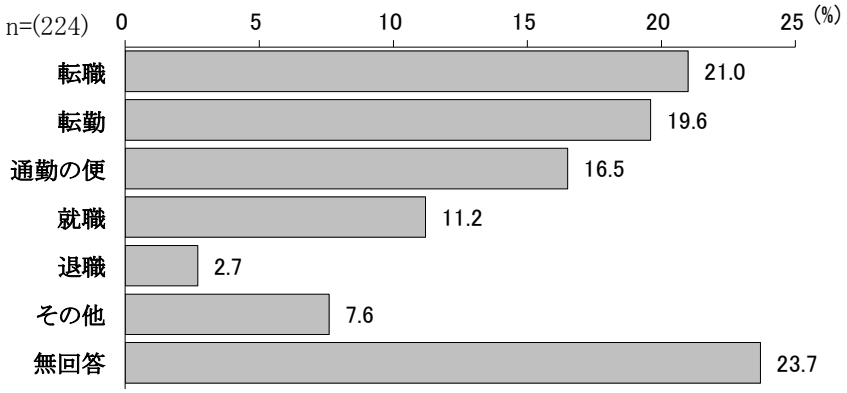
単位：%

	調査数（件）	自分や家族の仕事の都合	結婚のため	より良い住宅を求めて	より良い周辺環境を求めて	親や子ども、その他親族との同居・近居・別居のため	自分や家族の学校の都合	親などの介護のため	その他	無回答
全　体	445	50.3	13.9	13.7	9.9	5.2	2.5	1.6	6.3	13.5
伊勢原市内は検討しなかった	257	64.2	14.8	12.5	12.5	5.8	2.3	1.2	5.8	0.8
伊勢原市内も検討したが、他のまちに決めた	106	39.6	19.8	26.4	11.3	5.7	4.7	2.8	12.3	－

※表中の網掛け部分は、各分析軸において割合が最も多い項目

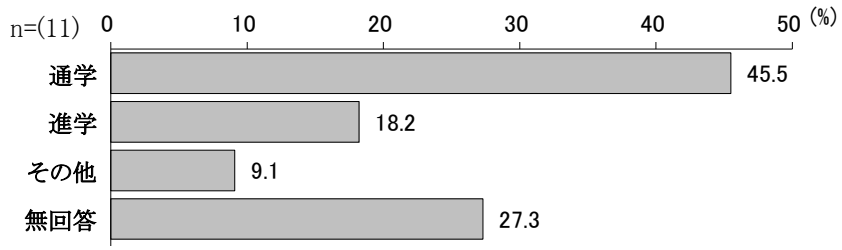
伊勢原市内での転居の検討別にみると、市内も検討した方では「より良い住宅を求めて」が26.4%と市内は検討しなかった方より多くなっている。

【自分や家族の仕事の都合：内容】



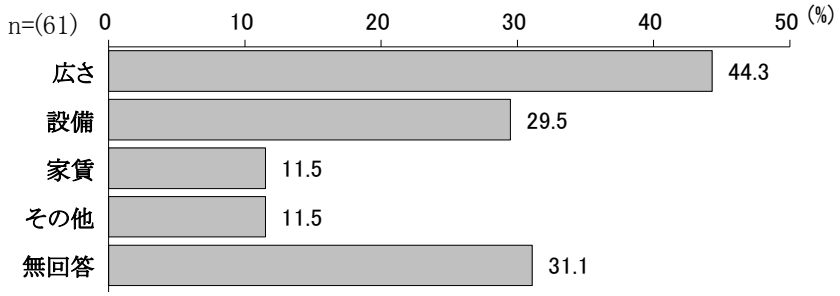
「自分や家族の仕事の都合」と回答した方の具体的な内容は、「転職」が21.0%と最も多く、次いで「転勤」が19.6%、「通勤の便」16.5%、「就職」11.2%などとなっている。

【自分や家族の学校の都合：内容】



「自分や家族の学校の都合」と回答した方の具体的な内容は、「通学」が45.5%と最も多く、次いで「進学」が18.2%となっている。

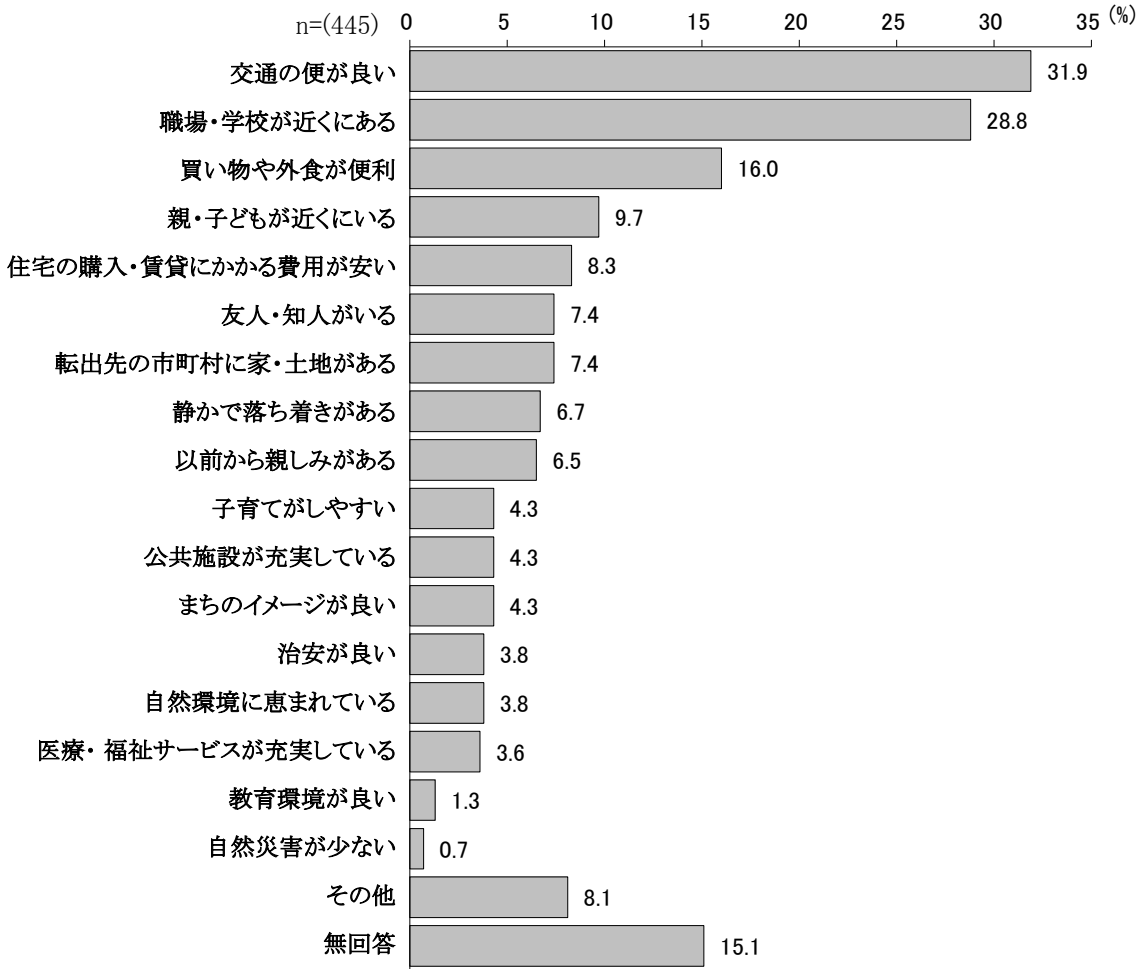
【より良い住宅を求めて：内容】



「より良い住宅を求めて」と回答した方の具体的な内容は、「広さ」が44.3％と最も多く、次いで「設備」が29.5％となっている。

（12）転出先の市町村を選んだ理由

転出先の市町村を選ばれた理由は何ですか（あてはまる番号全てに○）



転出先の市町村を選んだ理由は、「交通の便が良い」が31.9％と最も多く、次いで「職場・学校が近くにある」が28.8％、「買い物や外食が便利」16.0％、「親・子どもが近くにいる」9.7％などとなっている。

■性別

単位：%

	調査数（件）	交通の便が良い	職場・学校が近くにある	買い物や外食が便利	親・子どもが近くにいる	住宅の購入・賃貸にかかる費用が安い	友人・知人がいる	転出先の市町村に家・土地がある	静かで落ち着きがある	以前から親しみがある	子育てがしやすい	公共施設が充実している	まちのイメージが良い	治安が良い	自然環境に恵まれている	医療・福祉サービスが充実している	教育環境が良い	自然災害が少ない	その他	無回答
全　体	445	31.9	28.8	16.0	9.7	8.3	7.4	7.4	6.7	6.5	4.3	4.3	4.3	3.8	3.8	3.6	1.3	0.7	8.1	15.1
男性	264	34.1	30.3	13.6	9.1	7.2	4.5	6.8	7.2	4.9	3.8	4.5	4.5	3.0	3.0	1.9	1.1	0.4	8.3	13.6
女性	181	28.7	26.5	19.3	10.5	9.9	11.6	8.3	6.1	8.8	5.0	3.9	3.9	5.0	5.0	6.1	1.7	1.1	7.7	17.1

※表中の網掛け部分は、各分析軸において割合が最も多い項目

性別でみると、男女ともに「交通の便が良い」と「職場・学校が近くにある」が多くなっている。

■転出後の家族構成別

単位：%

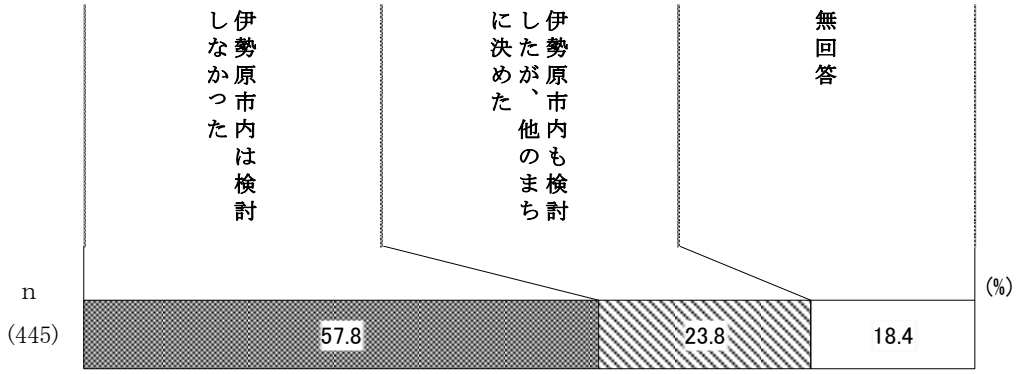
	調査数（件）	交通の便が良い	職場・学校が近くにある	買い物や外食が便利	親・子どもが近くにいる	住宅の購入・賃貸にかかる費用が安い	友人・知人がいる	転出先の市町村に家・土地がある	静かで落ち着きがある	以前から親しみがある	子育てがしやすい	公共施設が充実している	まちのイメージが良い	治安が良い	自然環境に恵まれている	医療・福祉サービスが充実している	教育環境が良い	自然災害が少ない	その他	無回答
全　体	445	31.9	28.8	16.0	9.7	8.3	7.4	7.4	6.7	6.5	4.3	4.3	4.3	3.8	3.8	3.6	1.3	0.7	8.1	15.1
単身	233	35.6	35.6	16.7	3.9	9.0	8.2	3.9	5.6	5.2	0.9	3.4	5.2	3.9	3.0	2.1	－	0.9	9.0	14.6
夫婦のみ	81	35.8	19.8	18.5	12.3	11.1	3.7	8.6	11.1	6.2	3.7	4.9	3.7	1.2	3.7	3.7	－	－	9.9	17.3
親子	81	19.8	21.0	9.9	27.2	3.7	7.4	16.0	4.9	13.6	17.3	4.9	2.5	1.2	6.2	8.6	7.4	1.2	2.5	17.3
3世代	5	－	20.0	－	20.0	－	－	40.0	－	20.0	－	20.0	－	20.0	－	－	－	－	－	－
その他	29	31.0	27.6	17.2	3.4	13.8	10.3	3.4	10.3	－	－	3.4	3.4	13.8	6.9	－	－	－	10.3	10.3

※表中の網掛け部分は、各分析軸において割合が最も多い項目

転出後の家族構成別にみると、単身では「交通の便が良い」と「職場・学校が近くにある」がともに35.6%と多く、夫婦のみでも「交通の便が良い」が35.8%と多い。親子では「親・子どもが近くにいる」が27.2%、「転出先の市町村に家・土地がある」が16.0%と多い。

（13）伊勢原市内での転居の検討

転居先として、伊勢原市内も検討しましたか



転居先として、伊勢原市内も検討したかどうかは、「伊勢原市内は検討しなかった」が57.8％と多く、「伊勢原市内も検討したが、他のまちに決めた」が23.8％であった。

■伊勢原市内での転居の検討別　転出先の市町村を選んだ理由

単位：％

	調査数（件）	交通の便が良い	職場・学校が近くにある	買い物や外食が便利	親・子どもが近くにいる	住宅の購入・賃貸にかかる費用が安い	友人・知人がいる	転出先の市町村に家・土地がある	静かで落ち着きがある	以前から親しみがある	子育てがしやすい	公共施設が充実している	まちのイメージが良い	治安が良い	自然環境に恵まれている	医療・福祉サービスが充実している	教育環境が良い	自然災害が少ない	その他	無回答
全　体	445	31.9	28.8	16.0	9.7	8.3	7.4	7.4	6.7	6.5	4.3	4.3	4.3	3.8	3.8	3.6	1.3	0.7	8.1	15.1
伊勢原市内は検討しなかった	257	38.5	37.0	18.3	12.8	7.8	9.3	8.6	6.6	10.1	4.3	5.4	5.1	4.7	4.7	5.1	1.6	0.8	8.6	0.8
伊勢原市内も検討したが、他のまちに決めた	106	34.9	25.5	20.8	9.4	16.0	7.5	6.6	11.3	1.9	6.6	4.7	5.7	3.8	3.8	1.9	1.9	0.9	9.4	4.7

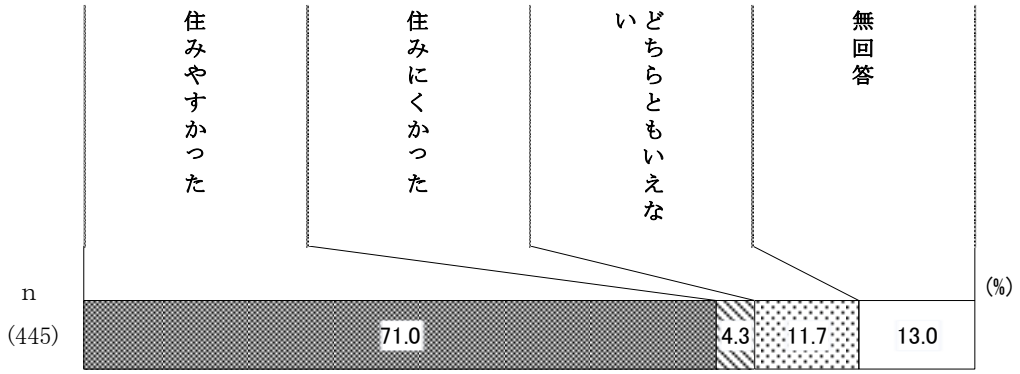
※表中の網掛け部分は、各分析軸において割合が最も多い項目

伊勢原市内での転居の検討別にみると、市内は検討しなかった方では「交通の便が良い」が38.5％、「職場・学校が近くにある」が37.0％と多くなっている。

一方、市内も検討した方では「交通の便が良い」が34.9％、「職場・学校が近くにある」25.5％、「買い物や外食が便利」20.8％といった利便性の他に「住宅の購入・賃貸にかかる費用が安い」が16.0％と比較的多くなっている。

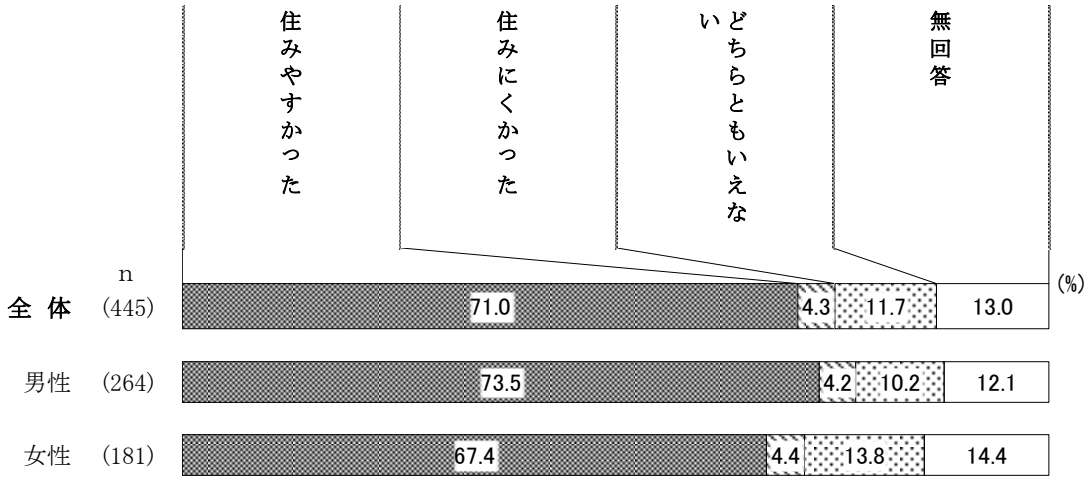
（14）伊勢原市の住み心地

伊勢原市の住み心地はいかがでしたか



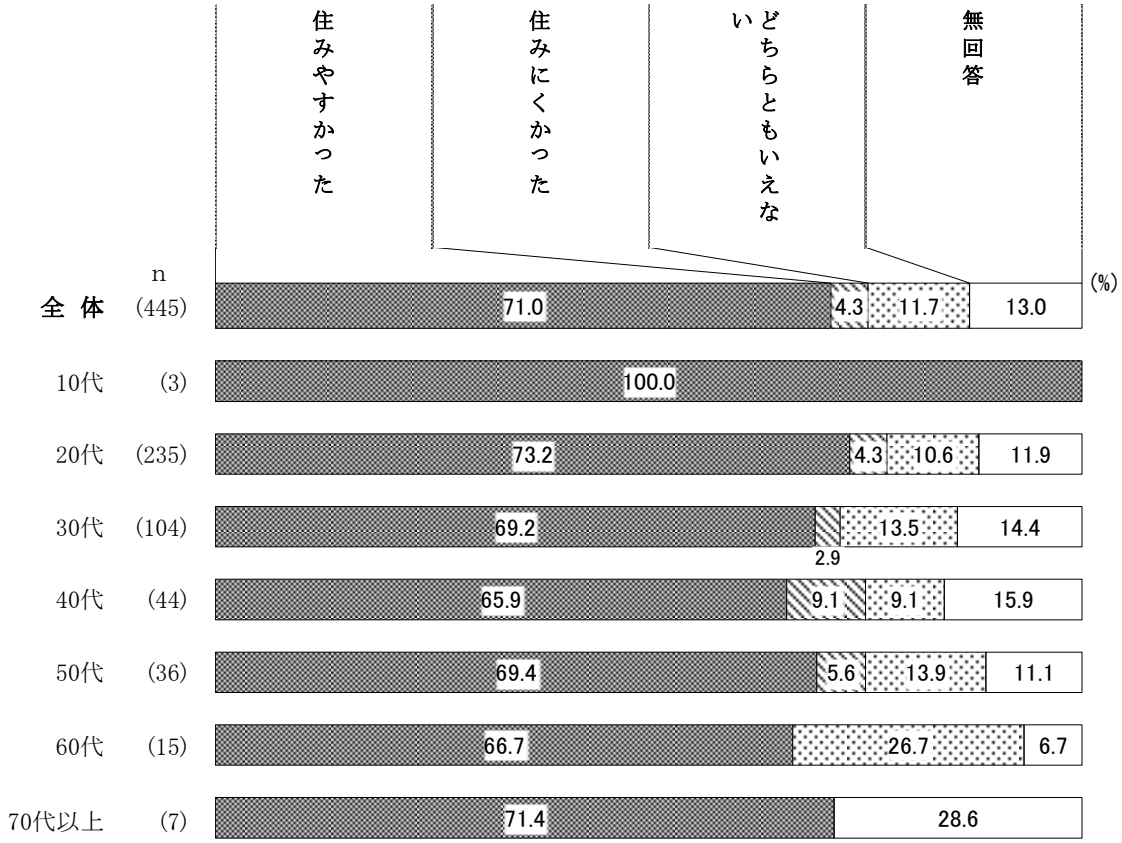
伊勢原市の住み心地は、「住みやすかった」が71.0％と多く、「どちらともいえない」が11.7％、「住みにくかった」が4.3％であった。

■性別



性別でみると、「住みやすかった」は男性では73.5％、女性では67.4％となっている。

■年齢別



年齢別にみると、「住みやすかった」は20代で73.2％と多く、いずれの年齢層でも６割以上を占めている。

伊勢原市の住み心地をどう感じたか聞いたところ、85 件の記述があった。１人で２つ以上の内容を記述している場合は、延べ件数としてカウントした。

◆「住みやすかった」とした方の理由（59 件）

・大きい病院が近くにあった。
・生まれた時から住んでいるから住みやすい。
・程々田舎で交通の便が良い。
・小田原線沿いで便利、よく利用する。
・適度な大きさのまち、お店がある。
・道が空いている。
・駅近でも家賃が安い。
・スーパー、医療機関が充実している。自然にも恵まれている。
・自然が多く、野菜を買いやすい。
・小田急線があり都内に出やすい。スーパーが近くにあり非常に助かった。のどかで落ち着く。
・買い物等便利であった。
・新宿まで１時間で出られるが、静かで医療も整っていて良いまち。
・長年居住してきたので、慣れ親しんでいる。

・実家があり、育ったまちだから。
・交通の便が良く、しかし静かなまちでした。落ち着いて住めるまちです。
・小田急線が利用しやすく、静かだったため。
・伊勢原以外に住んだことがない。
・人が親切。
・子育てがしやすかった。
・周りの人が優しかった。
・静かな環境で近所の方も親切でした。
・人が優しい。
・地元だから。
・行政の手続きやゴミの出し方がしっかりしていたため。
・程よい都会で便利だった。
・職場にも近く、交通の便もよかった。環境的にも住みやすかった。
・自然が多く、子供には良い。
・愛甲石田周辺はお店や交通のアクセスも良かった。
・人が多くなくストレスがなかった。
・静かと便利の両方を備えているから。
・治安が良い。
・住環境が落ち着いており、過ごしやすかったと思います。
・治安も良くおだやか。
・うるさくなかったです。
・生まれも育ちも伊勢原だが、個人的に好きだった。
・空気が良くて静かで広い。
・昔は環境が良かった（子供が小さかったので）。駅に近いので土や緑がなくなってしまった。
・自然が多くて良かった。半面、防災対策がしっかりしておらず、台風など不安でした。
・都市ガス、遅くまで開いているスーパー、薬局がない。ゴミ出しの曜日が都合にあっていた。
・交通の便がよく住みなれているため。
・ＩＣが近くにあるので、家に車があればレジャーにも出かけやすかった。
・治安が良い。自然が多い。
・夜も静かで良い。
・買物施設が付近にあったから。
・落ちついているが、必要なものは大体揃っていた。
・人があたたかい。
・交通の便がよく、災害も少ない。
・子育てしやすかった（近所の人々がよかった）。
・平和。
・自然環境が良く、親しみやすい市です。
・市役所、郵便局、図書館が１ケ所にまとまっていた。のどかさも感じられた。
・交通の便はよくなかったが、住民の皆さんがやさしかった（市の職員も含めて）。
・生まれたまちのため。

・スーパーや薬局、飲食店が駅の近くにたくさんあった。生活に困らない。
・生活がしやすかった（お店が近くにあるなど）。
・自然がほどよくあり、落ち着いていました。
・人が多すぎず、お店もたくさんあって便利だった。
・自然がたくさんあって親切な人が多く、人も少なくて良かった。
・温かい人ばかりでとても安らぐ。

◆「住みにくかった」とした方の理由（12 件）

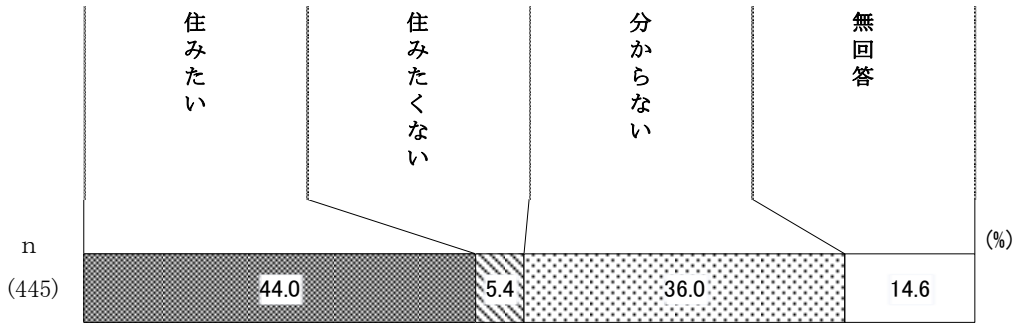
・娯楽施設が少ない。
・買物するのに厚木に行かなくてはいけない。不便。活気はない。
・駅が遠く、買い物ができる場所も少なかった。
・車のマナーが悪い（駅や自宅周辺）。買い物が不便。
・市のサービスが厚木市より悪い。
・不動産屋のせいで伊勢原がすごくいやになった。
・栄えていない。虫が多い。
・畑のとなりでカメムシ、カナブンが大量発生。
・交通の便が悪い。お店が少ない。坂が多い。
・自分の生活しているアパートの目の前の駐車場に、街灯がなく夜になると真っ暗だった（最近やけに明るくなったと思ったら、街灯が設置されていた）。
・暗いイメージ。
・東京方面に行くのに電車の本数がやや少なめ、逆だと本厚木止まりも多い。

◆「どちらともいえない」とした方の理由（14 件）

・自宅付近に服や本を買う場所がない。
・民度が低すぎるわけではないが、都内の方が余裕のある人が多い。
・活気などの人の気配を感じにくい。
・車があれば良いが、バスの最終が早い。本数が少ない。
・図書館は便利だった。近隣にスーパー等なくなってしまったのが残念。
・路線が１つしかない。
・車が必須。商業施設は必要十分だった。
・商業施設が遠い（車がないと不便）。
・厚木市との境だったため。
・生活はできるが栄えていない。
・夜道に光が少なくて、歩くのがこわかった。
・渋滞が多く、車で移動しにくい。
・税金が高い。
・他に住んだことがないので、わからない。

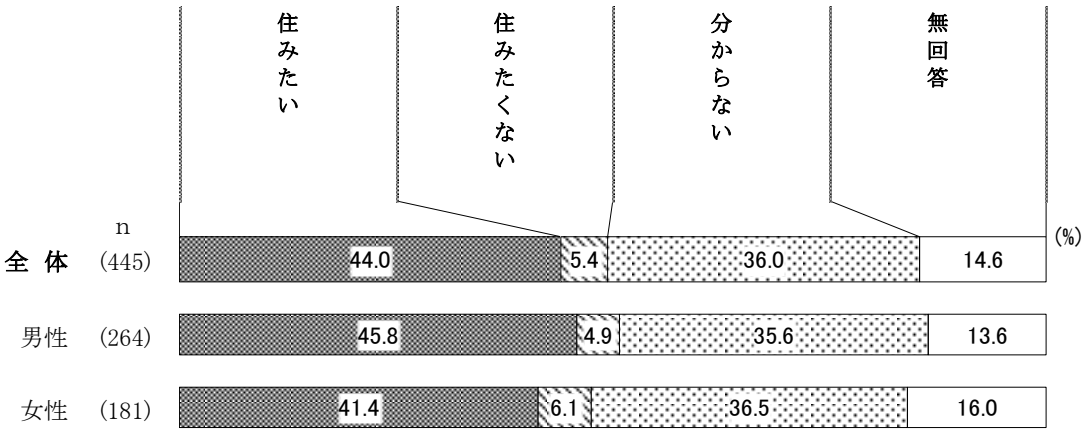
（15）伊勢原市への再居住意向

機会があれば、伊勢原市にもう一度住みたいと思いますか



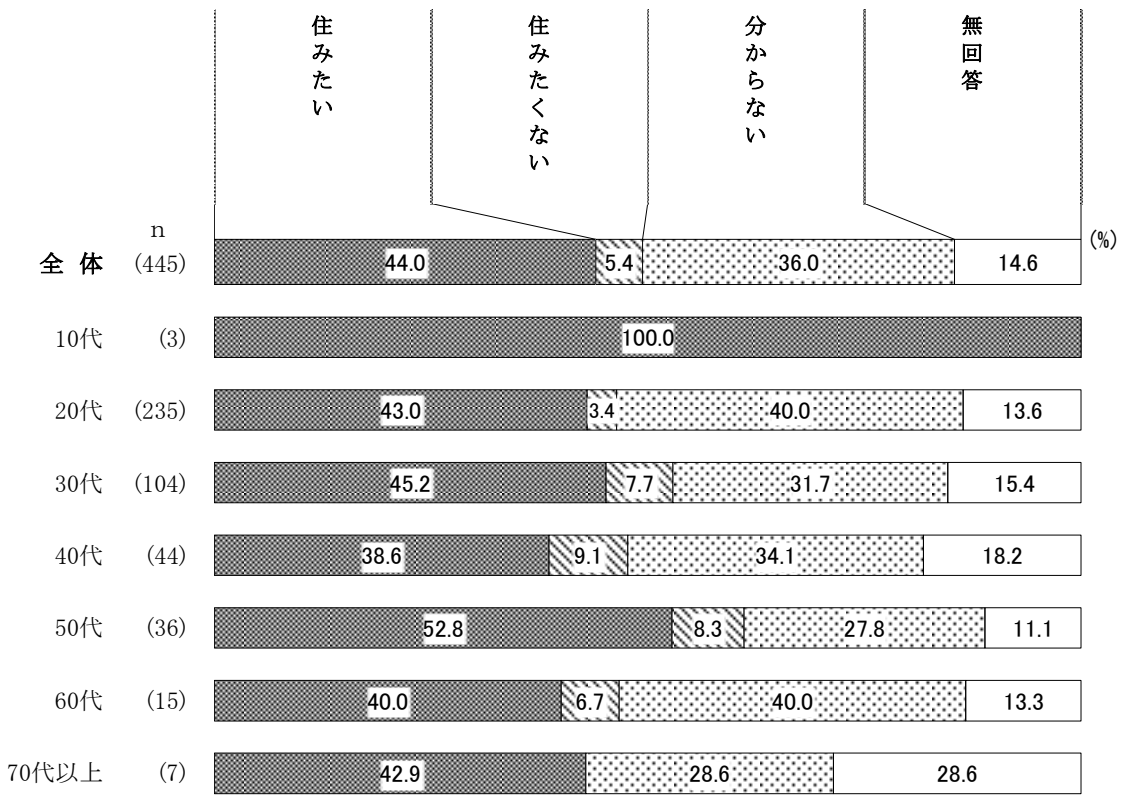
伊勢原市への再居住意向は、「住みたい」が44.0％、「分からない」が36.0％、「住みたくない」が5.4％であった。

■性別



性別でみると、「住みたい」は男性では45.8％、女性では41.4％となっている。

■年齢別



年齢別にみると、「住みたい」は50代で52.8％と多くなっている。

伊勢原市への再居住意向の理由を聞いたところ、54 件の記述があった。１人で２つ以上の内容を記述している場合は、延べ件数としてカウントした。

◆「住みたい」とした方の理由（37 件）

・戻ってきます。
・昔からの友人がいる。住みやすい。
・伊勢原はとても良い所。
・まちがちょうどいい大きさのため。
・静かでいいところ。
・家賃が安い。
・自然がたくさんあるから。
・医療機関、スーパーなど充実していて生活しやすい。自然環境も良い。交通の便も良い。
・交通の都合（通勤がよいかどうか）さえ良ければ、それ以外で困ることがないため。
・実家もあるため、また住みたい。
・いずれは市内に戻りたい。
・住みやすいと思います。駅から近くでも治安がいい。
・商店やスーパーも多く、近場に子どもが遊べる場所があったから。
・静かな環境で近所の方も親切でした。退職したら戻りたい。
・自然豊かで子育てはしやすそうだが、給与の面で都内の方が良い。

・また戻ってきます。
・駅のまわりが便利。
・隣の市ですが、温泉がいくつもあるのは魅力的でした。
・住み慣れていたので。
・子育ての面、運動の面で良いから。安い物件を見つけられたから。
・実家があるため。
・住み心地がよかった。
・仕事が落ち着けば、慣れた土地だから。
・家族がいるので。
・トータルで 10 年以上住んでいるので、慣れている。
・交通アクセスがとても良い。
・駅近に良い物件が見つかれば是非。
・本当なら転居したくなかった。
・渋滞が多く、車で移動しにくい以外は、おおむね満足しているから。
・住みなれているから（生まれた時住んでいて）。
・自然環境がよく、人情味があります。すてきな市です。
・娘家族が住んでいるため。
・伊勢原駅南口～平塚あたりまで開発されたら住みたい。
・自然環境がとても心地よく感じます。
・人が多すぎず、お店もたくさんあって便利だった。
・自然が豊かで都心にも近い。
・治安もよく静かなので。

◆「住みたくない」とした方の理由（7件）

・子どもの医療支援が遅れている（財政が良くない）。
・通勤の便。
・通勤の便が悪くなるので。
・田舎っぽい。
・車があれば良いがバスの最終が早い。本数が少ない。
・汚い家を貸し出してくるから。病院の先生にバカにされたから。
・意味がない。

◆「分からない」とした方の理由（10 件）

・家賃は安かったため、交通の便との兼ね合い次第。
・他に住んだことがないので、今はまだわからない。
・結婚相手と相談。
・家族の都合で検討する。
・相手次第。
・小児医療費等の助成が少ないので、子供が小さいうちは住まない。
・車を持っていないため、交通が不便。

・人は温かく親切だった。
・都心から遠いため、職場が近い等の事情がなければ住まないと思います。
・田舎だから。

（16）自由意見

今後の伊勢原市のまちづくりについて、ご意見がありましたらご自由にお書きください

今後の市のまちづくりについて意見を聞いたところ、64件の意見をいただいた。１人で２つ以上の内容を記述している場合は、延べ件数としてカウントした。

◆交通・道路（17件）

・高齢者の為の充実した交通手段が欲しい（買物、病院等）。
・初めて伊勢原市（もしくは神奈川県）に引っ越す人にとっては、バスの乗る位置や運賃の支払い方法、どこに乗車するのかが調べても分かりにくいと感じました。ウェブサイトや駅、まちの中に案内があると親切だと思います。
・交通が不便です。
・幹線道路が細い。
・電気自動車の電気スポットが非常に少ないので、あると良いと思います。
・道のインフラが少し悪いと思う。
・他とのアクセスがより良くなるとうれしいです。
・R246混雑していました。通勤で。
・駅周辺をもっと整備して欲しい。北口、南口、コンビニ等の24時間対応している店があると、より便利。徒歩２～３分が望ましい。
・R246などの交通の不便が緩和すると良い。
・交通整備を進めてもらいたい。
・歩道が狭い。水溜まりが多く、車からしぶきが飛ぶ。厚木市も同様です。
・道が狭いので広くしてほしい。
・やはり交通の便を何とかしていただければ、とても住み良いまちです。
・北口の交番前の鳥居からの横断歩道に、信号を付けてほしい（一生途絶えない）。
・もっと交通の便がよくなればと思います。
・歩道整備。

◆全般（９件）

・果物を市外へアピールする。
・伊勢原市はとても便利でにぎやかです。
・田舎の良さ（そんな田舎に感じませんが）を活かして、スタイリッシュな田舎を目指してください。
・良いまちづくりと評判のまちを視察して、伊勢原市のまちづくりと比べるなどすることが必要。
・福岡市などを参考にしたらいいのではないか。
・静かだけど良くも悪くも変化のない所だった。

・文化的なもの、自然をうまく調和させていただければうれしく思います。
・のどかなのはよかった。
・二度と来ないと思う。ろくな不動産屋と病院がない。

◆商業活性化、駅前再開発（８件）

・小田急線の駅の中でもエスカレーターを設置した方が良い。私鉄沿線だとは思いますが、呼びかけをしていただければと思います。
・駅前開発。
・まちにもっと活気ある雰囲気があると良かったと思います。
・市役所から見て、駅より平塚側がもっと栄えてほしいです。
・区画整理。
・愛甲石田駅に大きなスーパーがあると良い。もしくはよろずやスーパーの閉店時間が22時頃になると良い。
・駅周辺の開発
・愛甲石田駅前にスーパーがあるとよかった。

◆市役所、公共施設（６件）

・駅に戸籍がとれる所があって便利だった。
・市役所が駅近にあると便利だった。
・市役所の雰囲気が苦手です。駐車場も狭くて出にくい。気軽に立ち寄れるような環境づくりがんばって。
・市営プール（屋内）をつくってほしいです。
・スポーツ施設（温泉プールなど）を充実させてほしかったです。
・公民館が有料化したのは残念でした。

◆公園（４件）

・公園（遊具含め）を充実させてほしかったです。
・もう少し公園を増やしてほしい。秋田は公園が充実している。
・大きい公園がほしい。
・公園整備。

◆福祉・子育て（４件）

・子育て支援の充実（保育園、無料の行政が行う施設などの充実）。
・公共施設や子育て支援、医療、福祉サービスにもっと力を入れてくれると良い。
・子育て支援で厚木市と差があったから引っ越しました。また、第二子妊娠後、すぐ保育園に通えなくなると言われたため。
・子育てに対する支援の強化など。

◆生活環境・ゴミ（４件）

・カラスが多くて困る。

・段ボールやペットボトルが２週間に１回しか出せないのが困る。
・ゴミの分別があいまい。わかりづらい。汚れたプラは生ごみに捨てるのはわかるが、持って行ってくれない。
・ゴミがたくさん落ちているイメージがあるので、掃除やゴミを捨てにくい環境をつくったら、いいのではないかと思う。

◆イベント・講座（３件）

・市民の参加出来るイベントを駅周辺でしてほしい。総合公園は遠くて不便。
・地域の活動が活発でとてもよいので、お祭りやちょい飲みのイベントはこれからも続けてほしい。
・もっと人が集まるイベントを考えてください。

◆防犯・防災（３件）

・桜台に住んでいました。仕事場が遠く、夜遅くに帰宅することが多かったですが、大きい街灯がたくさんあり、夜道の不安が少なかったです。
・防災対策をもっとしっかり行ってほしかった。
・街灯を増やしてほしい。

◆住民（２件）

・小学校に外国人の子が目立つようになった。国際的になるのは良いが、受け入れ態勢が整っていないようにみえる。
・新東名もできるので住民が増えて、より発展するよう願っています。

◆その他（４件）

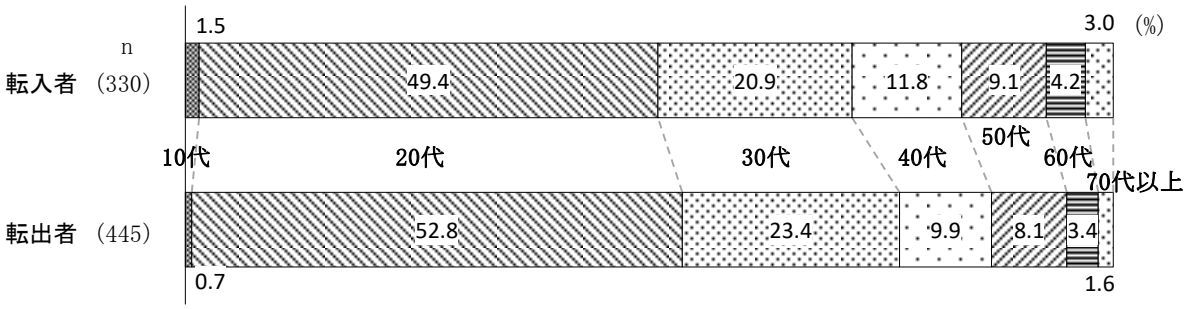
・就職して大阪から伊勢原市に移り住み、17年間お世話になりました（うち２年間は長期出張で神奈川県から離れました）。まちの方は親切で、清掃車の方々も本当に親切にして下さいました。今までありがとうございました。これからもこのご縁は大切にしたいと思います。伊勢原の益々のご発展を心よりお祈りいたしております。
・転出するので関係ない。
・伊勢原に限らず、賃貸住宅においてひきこもりの人がいて、周囲に迷惑をかけている。
・道灌まつり５年間ぐらいずっと雨ですね。

第３章　調査結果の考察

１．転入・転出状況の概観

前章の調査結果を踏まえ、転入調査と転出調査を横断的に比較し、両者の差を基に、本市における転入・転出の特徴を把握する。

（１）転入・転出者の年代の比較



単位：％

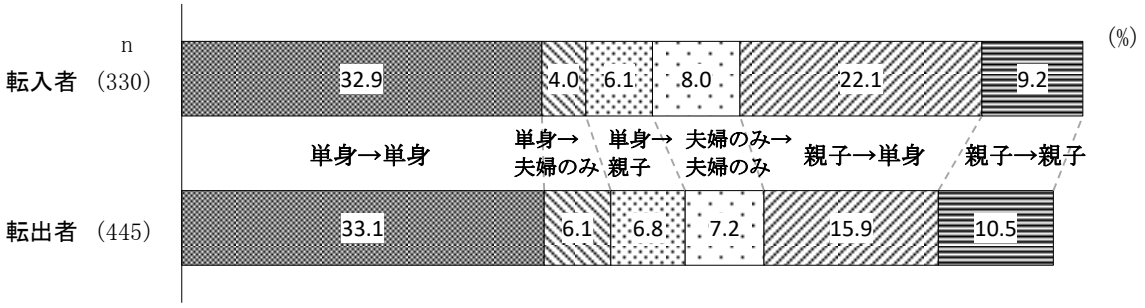
	調査数（件）	年代						
		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
転入者	330	1.5	49.4	20.9	11.8	9.1	4.2	3.0
転出者	445	0.7	52.8	23.4	9.9	8.1	3.4	1.6
転入-転出		0.8	−3.4	−2.5	1.9	1.0	0.8	1.4

〇転入・転出者の年代を比較すると

・「20代」「30代」は、転出者の方が3.4pt、2.5pt高く、若者世代は、就職・転勤や結婚をきっかけとして、より都心に近い自治体へ流出していると推察される。

・「40代」以上は、各世代とも転入者の方が高く、中高年世代は、親との近居・同居や、静かで落ち着きのある住環境への志向により流入していると推察される。

（２）転入・転出による世帯構成の変化



単位:%

	調査数（件）	世帯構成の変化					
		単身→単身	単身→夫婦のみ	単身→親子	夫婦のみ→夫婦のみ	親子→単身	親子→単身
転入者	330	32.9	4.0	6.1	8.0	22.1	9.2
転出者	445	33.1	6.1	6.8	7.2	15.9	10.5
転入-転出		−0.2	−2.1	−0.7	0.8	6.2	−1.3

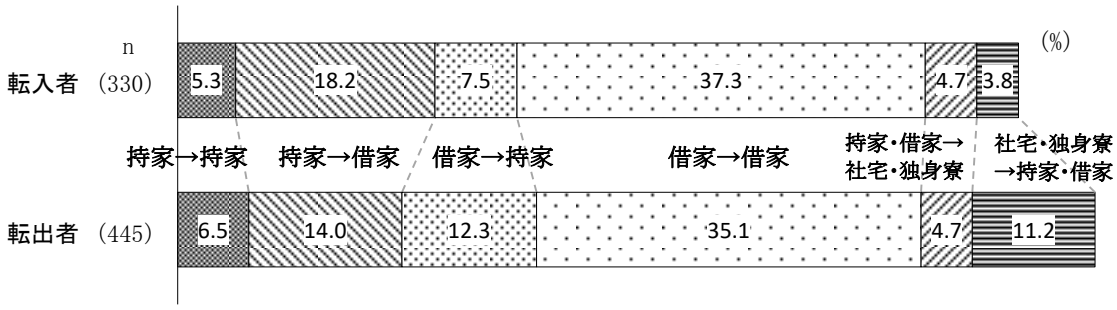
※世帯構成の変化のうち、対象が多いものを６区分抽出

〇転入・転出前後の世帯構成の変化をみると

・「親子→単身」は、転入者の方が6.2pt高く、進学や就職により親元を離れて転入するケースが多いことが要因と考えられる。

・「単身→夫婦のみ」は、転出者の方が2.1pt高く、結婚を機に転出するケースが多いことが要因と考えられる。

（３）転入・転出による住居形態の変化



単位：％

	調査数（件）	住居形態の変化					
		持家→持家	持家→借家	借家→持家	借家→借家	持家・借家→社宅・独身寮	社宅・独身寮→持家・借家
転入者	330	5.3	18.2	7.5	37.3	4.7	3.8
転出者	445	6.5	14.0	12.3	35.1	4.7	11.2
転入-転出		-1.2	4.2	-4.8	2.2	0.0	-7.4

※住居形態の変化のうち、主要な６区分に分類し抽出

○転入・転出前後の住居形態の変化をみると

・「持家→借家」「借家→借家」は、転入者の方が4.2pt、2.2pt高く、若者世代が就職や転勤、通学などで一時的に本市に居住しているケースが少なくないと推察される。

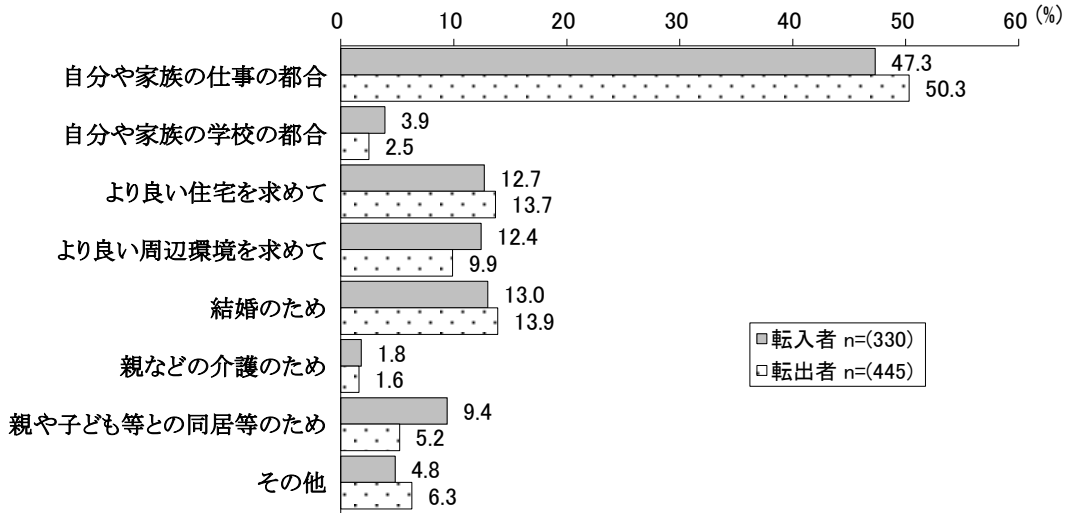
・「借家→持家」は、転出者の方が4.8pt高く、住宅購入に際して流出傾向にあると考えられる。

・「社宅・独身寮→持家・借家」は、転出者の方が7.4pt高く、勤務先の社宅等に入るため本市に居住していたが、退去する際に流出するケースがあると考えられる。

２．転入・転出要因の比較

次に、転入・転出のきっかけ及び理由を比較し、市の強みと弱みを把握する。

（１）転入・転出のきっかけの比較



単位：％

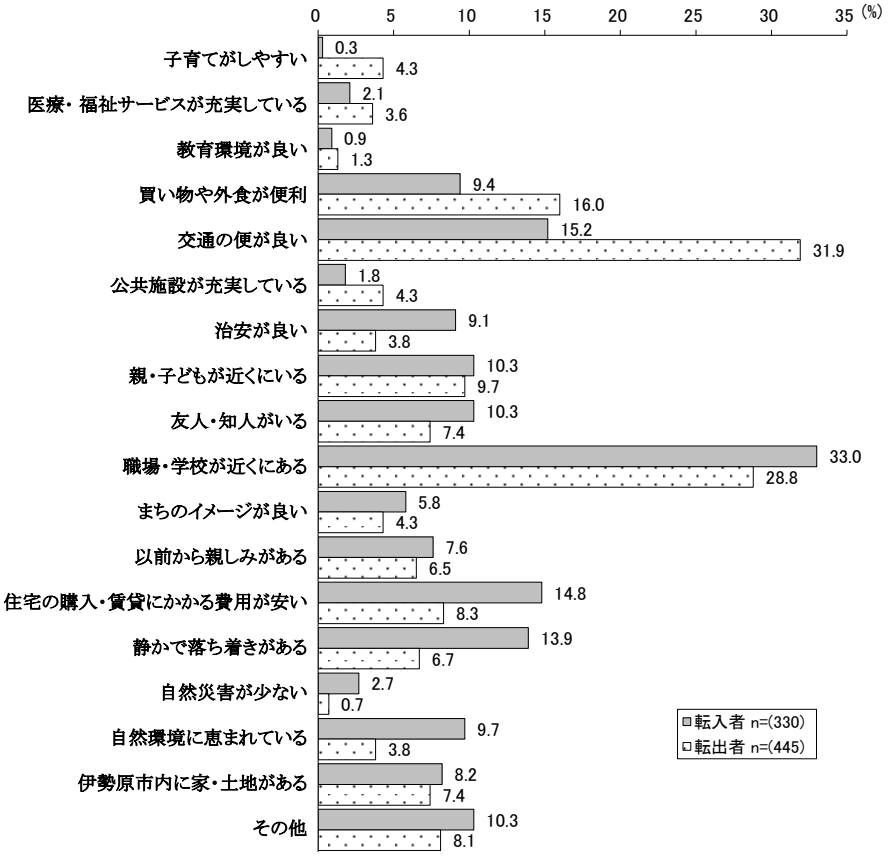
	調査数（件）	転入・転出のきっかけ							
		自分や家族の仕事の都合	自分や家族の学校の都合	より良い住宅を求めて	より良い周辺環境を求めて	結婚のため	親などの介護のため	親や子ども等との同居等のため	その他
転入者	330	47.3	3.9	12.7	12.4	13.0	1.8	9.4	4.8
転出者	445	50.3	2.5	13.7	9.9	13.9	1.6	5.2	6.3
転入-転出		-3.0	1.4	-1.0	2.5	-0.9	0.2	4.2	-1.5

○転入・転出のきっかけをみると

・就職や転勤といった仕事の都合による異動が多数を占めており、転入の促進に当たっては、第一に雇用機会の創出に取り組む必要があると考えられる。

・一方、より良い住宅や周辺環境を求めた異動も一定数確認される。

（２）転入・転出先市町村を選んだ理由の比較



単位：％

	調査数（件）	転入・転出先市町村を選んだ理由								
		子育てがしやすい	医療・福祉サービスが充実している	教育環境が良い	買い物や外食が便利	交通の便が良い	公共施設が充実している	治安が良い	親・子どもが近くにいる	友人・知人がいる
転入者	330	0.3	2.1	0.9	9.4	15.2	1.8	9.1	10.3	10.3
転出者	445	4.3	3.6	1.3	16.0	31.9	4.3	3.8	9.7	7.4
転入−転出		**−4.0**	−1.5	−0.4	**−6.6**	**−16.7**	−2.5	5.3	0.6	2.9

	調査数（件）	転入・転出先市町村を選んだ理由								
		職場・学校が近くにある	まちのイメージが良い	以前から親しみがある	住宅の購入・賃貸にかかる費用が安い	静かで落ち着きがある	自然災害が少ない	自然環境に恵まれている	伊勢原市内に家・土地がある	その他
転入者	330	33.0	5.8	7.6	14.8	13.9	2.7	9.7	8.2	10.3
転出者	445	28.8	4.3	6.5	8.3	6.7	0.7	3.8	7.4	8.1
転入−転出		4.2	1.5	1.1	**6.5**	**7.2**	2.0	**5.9**	0.8	2.2

※網掛け部分は、差が顕著な部分を示す

○転入・転出先市町村を選んだ理由をみると

・本市は「静かで落ち着きがある」「住宅の購入・賃貸にかかる費用が安い」「自然環境に恵まれている」と評価されていると考えられる。

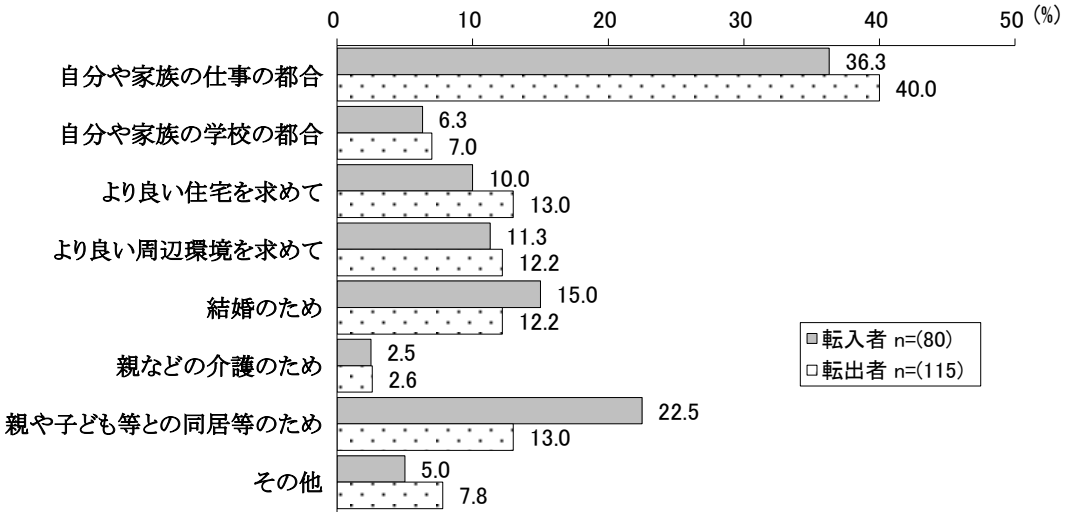
・一方、「交通の便が良い」「買い物や外食が便利」「子育てがしやすい」に関して、評価が低くなっている。「交通の便が良い」「買い物や外食が便利」については、転入者が本市を選んだ理由として一定数あげられており、求める水準や比較する自治体により、評価が分かれていると推察される。

３．個別分析

（１）子どもをもつ家庭の分析

「子育てがしやすい」に関して評価が低くなっていることや、子育て世代の転入促進を図る必要があることを踏まえ、子どもをもつ家庭に限定した分析を行う。

■転入・転出のきっかけの比較



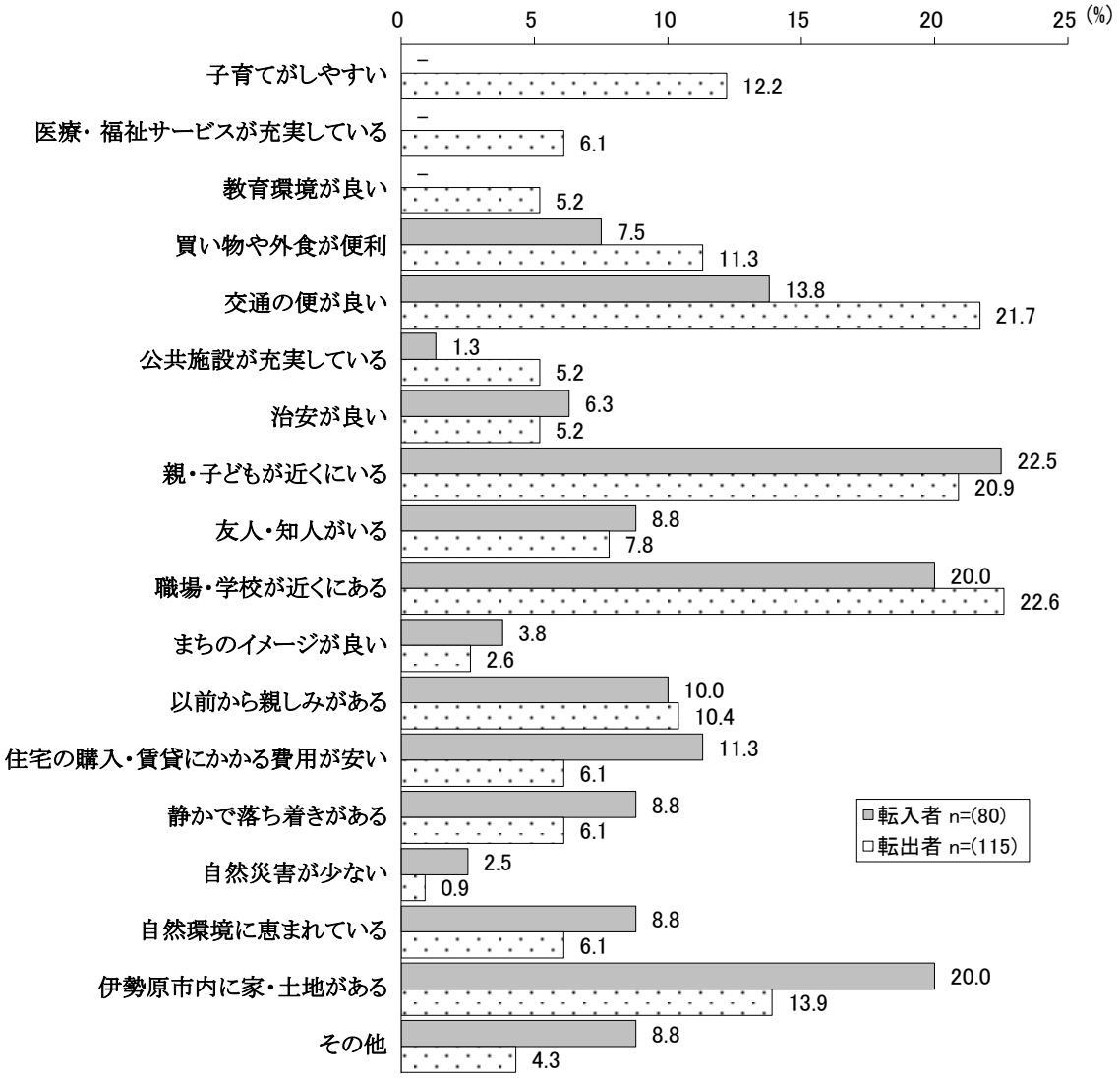
単位：%

	調査数（件）	転入・転出のきっかけ							
		自分や家族の仕事の都合	自分や家族の学校の都合	より良い住宅を求めて	より良い周辺環境を求めて	結婚のため	親などの介護のため	親や子ども等との同居等のため	その他
転入者	80	36.3	6.3	10.0	11.3	15.0	2.5	22.5	5.0
転出者	115	40.0	7.0	13.0	12.2	12.2	2.6	13.0	7.8
転入−転出		**−3.7**	−0.7	**−3.0**	−0.9	**2.8**	−0.1	**9.5**	−2.8

※網掛け部分は、差が顕著な部分を示す

○子どもをもつ家庭の転入・転出のきっかけをみると
・転入者の場合、「親や子ども等との同居等のため」「結婚のため」が多い。
・転出者の場合、「自分や家族の仕事の都合」「より良い住宅を求めて」が多い。

■転入・転出先市町村を選んだ理由の比較



単位：%

	調査数（件）	転入・転出先市町村を選んだ理由								
		子育てがしやすい	医療・福祉サービスが充実している	教育環境が良い	買い物や外食が便利	交通の便が良い	公共施設が充実している	治安が良い	親・子どもが近くにいる	友人・知人がいる
転入者	80	－	－	－	7.5	13.8	1.3	6.3	22.5	8.8
転出者	115	12.2	6.1	5.2	11.3	21.7	5.2	5.2	20.9	7.8
転入-転出		**−12.2**	**−6.1**	**−5.2**	−3.8	**−7.9**	−3.9	1.1	1.6	1.0

	調査数（件）	転入・転出先市町村を選んだ理由								
		職場・学校が近くにある	まちのイメージが良い	以前から親しみがある	住宅の購入・賃貸にかかる費用が安い	静かで落ち着きがある	自然災害が少ない	自然環境に恵まれている	伊勢原市内に家・土地がある	その他
転入者	80	20.0	3.8	10.0	11.3	8.8	2.5	8.8	20.0	8.8
転出者	115	22.6	2.6	10.4	6.1	6.1	0.9	6.1	13.9	4.3
転入-転出		−2.6	1.2	−0.4	**5.2**	**2.7**	1.6	**2.7**	**6.1**	4.5

※網掛け部分は、差が顕著な部分を示す

〇子どもをもつ家庭の転入・転出の理由をみると
・転入の場合、「市内に家・土地がある」「住宅の購入・賃貸にかかる費用が安い」「静かで落ち着きがある」「自然環境に恵まれている」が多い。
・転出の場合、「子育てがしやすい」「交通の便が良い」「医療・福祉サービスが充実している」「教育環境が良い」が多い。

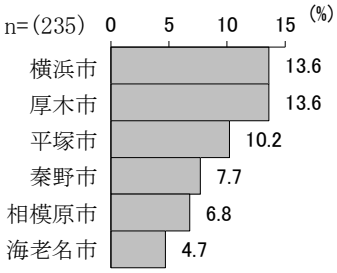
〇また、自由意見でも子育て支援施策や保育園の充実を望む意見など、子育てしやすいまちづくりを求める意見が多く見受けられた。

〇本市では、現在、子育て環境づくりに施策横断的に取り組んでいるところであるが、子育て支援や教育・福祉分野の取組の充実を図るとともに、取組に関する一層の情報発信を進める必要があると考えられる。

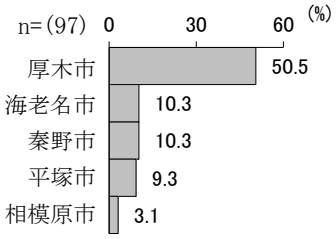
（２）近隣自治体との関係性の分析

転入・転出の状況から、競合している自治体を明らかにするとともに、勤務地などからその関係性を分析する。

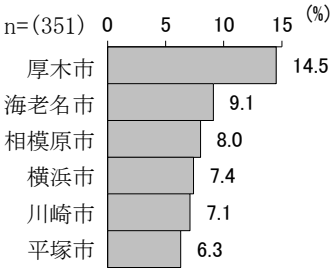
□転入元の上位6自治体



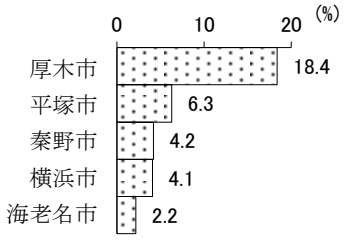
□転入者が他に検討した上位5自治体



□転出先の上位6自治体

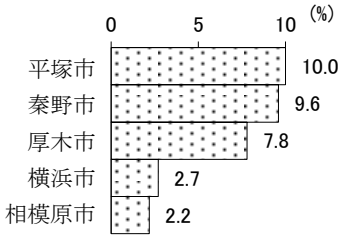


□本市から他市町村への就業者数上位5自治体



（参考：市内　41.2%）
出典：平成27年国勢調査結果
（総務省統計局）

□他市町村から本市への就業者数上位5自治体



（参考：市内　47.6%）
出典：平成27年国勢調査結果
（総務省統計局）

○小田急線沿線である厚木市、海老名市、秦野市、隣接する平塚市との間で、異動や人口の流入・流出が多い。居住地の選択に当たっては、こうした自治体と比較・検討されていると考えられる。

○転入元、転出先ともに厚木市が最も高い割合になっている。「静かで落ち着きがある」「住宅の購入・賃貸にかかる費用が安い」「交通の便が良い」ことなどを理由に、本市を居住地として厚木市に通勤する就業者も多く見られる。

■転入元自治体別の伊勢原市を選んだ理由

単位：%

		調査数（件）	伊勢原市を選んだ理由								
			子育てがしやすい	医療・福祉サービスが充実している	教育環境が良い	買い物や外食が便利	交通の便が良い	公共施設が充実している	治安が良い	親・子どもが近くにいる	友人・知人がいる
全　体		235	0.4	1.7	0.9	11.9	15.7	1.7	9.4	11.1	11.5
転入元自治体	海老名市	11	－	－	－	18.2	9.1	9.1	－	－	－
	厚木市	32	3.1	－	－	15.6	15.6	－	6.3	6.3	6.3
	平塚市	24	－	4.2	－	16.7	16.7	－	8.3	－	8.3
	秦野市	18	－	－	－	11.1	**33.3**	5.6	11.1	22.2	11.1

		調査数（件）	伊勢原市を選んだ理由								
			職場・学校が近くにある	まちのイメージが良い	以前から親しみがある	住宅の購入・賃貸にかかる費用が安い	静かで落ち着きがある	自然災害が少ない	自然環境に恵まれている	伊勢原市内に家・土地がある	その他
全　体		235	31.1	5.1	8.5	17.4	15.7	3.0	10.6	7.7	9.4
転入元自治体	海老名市	11	**36.4**	9.1	9.1	**27.3**	9.1	－	－	**27.3**	18.2
	厚木市	32	18.8	3.1	6.3	**21.9**	**21.9**	－	－	3.1	28.1
	平塚市	24	**33.3**	4.2	4.2	**33.3**	16.7	4.2	8.3	－	－
	秦野市	18	**33.3**	11.1	16.7	11.1	5.6	5.6	11.1	5.6	5.6

■転出先自治体別の転出先市町村を選んだ理由

単位：%

		調査数（件）	転出先市町村を選んだ理由								
			子育てがしやすい	医療・福祉サービスが充実している	教育環境が良い	買い物や外食が便利	交通の便が良い	公共施設が充実している	治安が良い	親・子どもが近くにいる	友人・知人がいる
全　体		351	5.1	4.0	1.7	18.8	37.0	5.4	4.6	8.3	7.4
転出先自治体	海老名市	32	6.3	3.1	3.1	**46.9**	**56.3**	**15.6**	9.4	9.4	6.3
	厚木市	51	**15.7**	**13.7**	3.9	19.6	**45.1**	5.9	－	7.8	9.8
	平塚市	22	**22.7**	4.5	**13.6**	22.7	9.1	9.1	4.5	13.6	4.5
	秦野市	21	－	－	－	14.3	14.3	－	－	14.3	9.5

		調査数（件）	転出先市町村を選んだ理由								
			職場・学校が近くにある	まちのイメージが良い	以前から親しみがある	住宅の購入・賃貸にかかる費用が安い	静かで落ち着きがある	自然災害が少ない	自然環境に恵まれている	伊勢原市内に家・土地がある	その他
全　体		351	26.8	5.1	5.1	9.4	7.7	0.9	4.3	5.7	8.3
転出先自治体	海老名市	32	21.9	**18.8**	3.1	6.3	3.1	－	－	3.1	9.4
	厚木市	51	**33.3**	2.0	11.8	7.8	7.8	－	－	2.0	3.9
	平塚市	22	13.6	4.5	4.5	4.5	9.1	4.5	**13.6**	9.1	13.6
	秦野市	21	23.8	－	4.8	**23.8**	**19.0**	－	4.8	9.5	4.8

〇転入先として伊勢原市を選んだ理由をみると

・海老名市、厚木市、平塚市からの転入者は、「住宅の購入・賃貸にかかる費用が安い」が多い。
・厚木市からの転入者は、「静かで落ち着きがある」が多い。
・秦野市からの転入者は、「交通の便が良い」が多い。

〇転出先の自治体を選んだ理由をみると

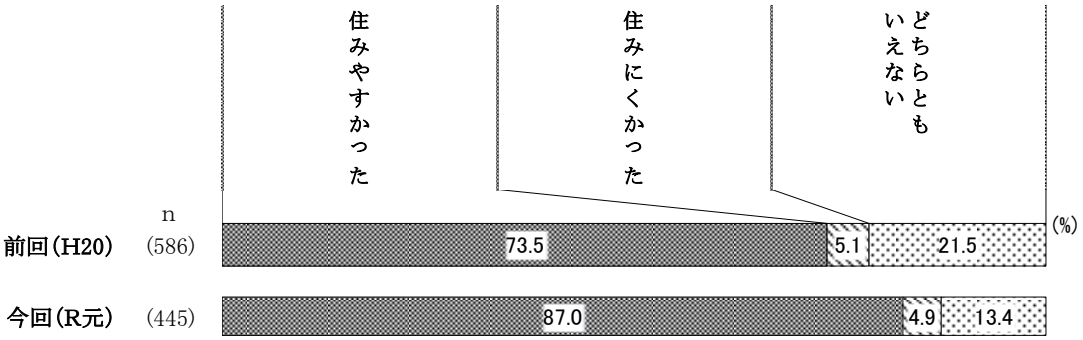
・海老名市への転出者は、「買い物や外食が便利」「交通の便が良い」「公共施設が充実している」「まちのイメージが良い」が多い。
・厚木市への転出者は、「子育てがしやすい」「医療・福祉サービスが充実している」「交通の便が良い」「職場・学校が近くにある」が多い。
・平塚市への転出者は、「子育てがしやすい」「教育環境が良い」「自然環境に恵まれている」が多い。
・秦野市への転出者は、「住宅の購入・賃貸にかかる費用が安い」「静かで落ち着きがある」が多い。

〇こうした現状を踏まえ、他自治体の行政サービスの水準や住環境を更に整理・分析した上で、弱みの克服と他市との差別化を図る必要があると考えられる。

４．伊勢原市への評価の経年比較

転出者が感じた「伊勢原市の住み心地」「伊勢原市にもう一度住みたいか」の結果について、H20の調査結果との比較を行う。

（１）「伊勢原市の住み心地」について



単位：%

	調査数（件）	伊勢原市の住み心地		
		住みやすかった	住みにくかった	どちらともいえない
前回(H20)	586	73.5	5.1	21.5
今回(R元)	445	87.0	4.9	13.4
今回-前回		13.5	−0.2	−8.1

※無回答を除外して算出

＜参考＞自由記述欄の集計結果（※延べ件数）

「住みやすかった」とした理由	件数
静か、のどかで落ち着くから	14件
交通の便が良いから	10件
買い物が便利だから	8件
自然に恵まれているから	8件
人が親切、やさしいから	8件
長年過ごした／生まれた地だから	6件
ほどよい田舎／都会だから	4件
医療環境が安心できるから	3件
治安が良いから	3件
子育てがしやすいから	2件
総合的な住環境が良いから	2件
住宅の賃貸にかかる費用が安いから	1件
野菜がおいしい／買いやすいから	1件
行政サービスが良かったから	1件
災害が少ないから	1件
平和だから	1件
その他	3件

＜計　76件＞

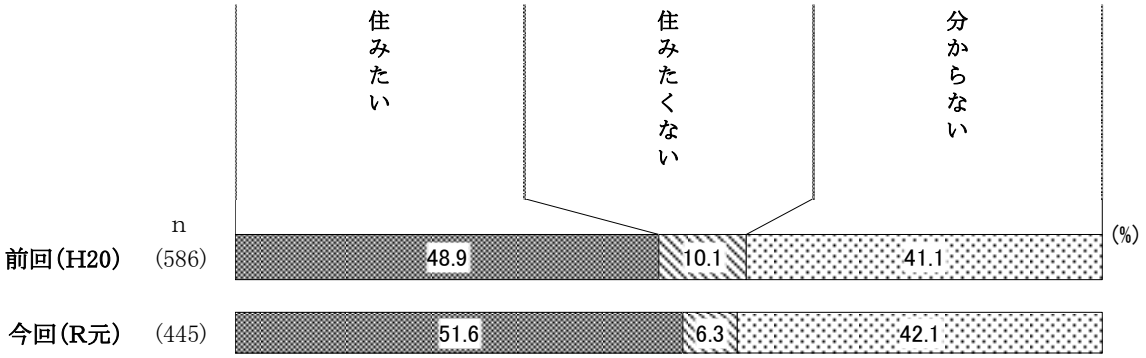
「住みにくかった」とした理由	件数
買い物が不便だから	4件
娯楽施設が少ない／栄えていないから	2件
虫が多いから	2件
交通の便が悪いから	2件
車のマナーが悪いから	1件
行政サービスが他市より遅れているから	1件
暗いイメージだから	1件
坂が多いから	1件
その他	2件

＜計　16件＞

「どちらともいえない」とした理由	件数
買い物が不便だから	3件
栄えていないから	2件
路線バスが不便だから	1件
交通の便が悪い	1件
車が必須だから	1件
車の移動が不便だから	1件
夜道が暗かったから	1件
都内の方が余裕のある人が多いから	1件
税金が高いから	1件
分からない	1件
その他	1件

＜計　14件＞

（２）「伊勢原市にもう一度住みたいか」について



単位：%

	調査数（件）	伊勢原市にもう一度住みたいか		
		住みたい	住みたくない	分からない
前回(H20)	586	48.9	10.1	41.1
今回(R元)	445	51.6	6.3	42.1
今回-前回		2.7	-3.8	1.0

※無回答を除外して算出

＜参考＞自由記述欄（※分類が困難なため、一部意見を要約し抜粋）

「住みたい」とした理由
長年過ごした／生まれた地だから
静か、のどかで落ち着くから
家族・友人がいるから
治安が良いから
買い物が便利だから
人が親切、やさしいから
交通の便が良いから
自然に恵まれているから
ほどよい田舎だから

「住みたくない」とした理由
子どもの医療支援が遅れている
財政が良くない
通勤の便が悪くなる
田舎っぽい
バスの最終が早い、本数が少ない

「分からない」とした理由
家族の都合で検討する
小児医療費等の助成が少ない
車を持っていないため交通が不便
人は温かく親切だった
都心から遠いため
田舎だから

○「伊勢原市の住み心地」「伊勢原市にもう一度住みたいか」ともに、数値は向上している。また、自由意見でも本市の総合的な住環境を評価する意見が見受けられ、これまでの市の取組は一定の成果を上げていると推察される。

○一方、「住みにくかった」「住みたくない」と回答した方の理由では、少数ながら、まちの賑わいや買い物・交通の利便性などを指摘する意見があることから、首都圏近郊ながら自然に恵まれ落ち着きがあるという本市の優位性を維持するとともに、まちの賑わいの創出や暮らしにおける利便性の向上に取り組む必要があると考えられる。

第４章　使用した調査票

「転入」に関するアンケート調査 調査票

伊勢原市への「転入」に関するアンケート調査

このアンケートは、伊勢原市の今後のまちづくりの方策検討の参考とさせていただくものです。
アンケートは無記名形式で行い、統計的に処理しますので、個人が特定されることはありません。

1　あなたの性別は

1．男
2．女

2　あなたの年齢は

1．１０代　2．２０代　3．３０代　4．４０代
5．５０代　6．６０代　7．７０代以上

3　あなたのご職業は

1．会社員（企業・団体・官公庁など）　2．自営業（農漁業従事者など）
3．自営業（商工業従事者など）　4．パートタイマー・アルバイト
5．学生　6．無職（家事従事者含む）　7．その他（　　）

4　あなたの国籍は

1．日本　2．日本以外（国名：　　）

5　転入前・転入後の家族構成は

（転入前）
1．単身　2．夫婦のみ　3．親子
4．３世代　5．その他（　　）

→

（転入後）
1．単身　2．夫婦のみ　3．親子
4．３世代　5．その他（　　）

6　ご世帯にお子さんがいらっしゃる場合、次のどれに当てはまりますか（あてはまる番号全てに○）

1．就学前児童　2．小学生　3．中学生　4．高校生
5．短大・大学・大学院・高専・専門学校　6．社会人・アルバイト
7．その他（　　）

7　転入前・転入後のお住まいは

（転入前）
都道府県名（　　）
市町村名　（　　）

→

（転入後）
伊勢原市（　　）
※町丁名(大字)を記入してください(東大竹１丁目　等)

8　転入前のご住所の居住年数は

居住年数（　　）年

9　勤務地・通学地は

1．通勤通学していない　2．市内
3．市外：都道府県名（　　）市町村名（　　）

10　転入前・転入後の住宅の所有関係は

（転入前）
1．持家（戸建て）
2．持家（マンション等）
3．民間の借家（戸建て）
4．民間の借家（アパート、マンション等）
5．公営の借家（市・県営、公団住宅等）
6．社宅・独身寮
7．親（子）が所有または賃貸している住宅
8．その他（　　）

→

（転入後）
1．持家（戸建て）
2．持家（マンション等）
3．民間の借家（戸建て）
4．民間の借家（アパート、マンション等）
5．公営の借家（市・県営、公団住宅等）
6．社宅・独身寮
7．親（子）が所有または賃貸している住宅
8．その他（　　）

【裏面もご記入をお願いします】

11　伊勢原市へ転入されることになった最も大きなきっかけは何ですか
（あてはまる番号全てに○、内容にも○）

１．自分や家族の仕事の都合【内容：就職　転職　転勤　退職　通勤の便　その他（　　）】
２．自分や家族の学校の都合【内容：　進学　通学　その他（　　）】
３．より良い住宅を求めて【内容：　広さ　設備　家賃　その他（　　）】
４．より良い周辺環境を求めて
５．結婚のため
６．親などの介護のため
７．親や子ども、その他親族との同居・近居・別居のため
８．その他（　　）

12　転入先として、伊勢原市を選ばれた理由は何ですか
（あてはまる番号全てに○）

１．子育てがしやすい	２．医療･福祉サービスが充実している
３．教育環境が良い	４．買い物や外食が便利
５．交通の便が良い	６．公共施設が充実している
７．治安が良い	８．親・子どもが近くにいる
９．友人・知人がいる	10．職場・学校が近くにある
11．まちのイメージが良い	12．以前から親しみがある
13．住宅の購入・賃貸にかかる費用が安い	14．静かで落ち着きがある
15．自然災害が少ない	16．自然環境に恵まれている
17．伊勢原市内に家・土地がある	18．その他（　　）

13　転入先として、伊勢原市以外のまちを検討しましたか

１．伊勢原市のみ　　２．他に検討した市町村名（　　）

14　今後の伊勢原市のまちづくりについて、ご意見がありましたらご自由にお書きください

（　　）

ご協力ありがとうございました。
このアンケート用紙は、バインダーにはさんだまま、回収箱にお入れください。

「転入」に関するアンケート調査 調査票（やさしい日本語版）

伊勢原市への「転入」に関するアンケート調査

このアンケートは、伊勢原市のこれからのまちづくりの参考とさせていただくものです。
アンケートは無記名形式で行い、統計的に処理しますので、個人が特定されることはありません。

1　あなたの性別は

1．男
2．女

2　あなたの年齢は

1．１０代　2．２０代　3．３０代　4．４０代
5．５０代　6．６０代　7．７０代以上

3　あなたのご職業は（お仕事は）

1．会社員（企業・団体・官公庁など）　2．自営業（農漁業従事者など）
3．自営業（商工業従事者など）　4．パートタイマー・アルバイト
5．学生　6．無職（家事従事者含む）　7．その他（　　）

4　あなたの国籍は

1．日本　2．日本以外（国名：　　）

5　転入前・転入後の家族構成は（ひっこしをする前と後の家族構成は）

（転入前）
1．単身　2．夫婦のみ　3．親子
4．３世代　5．その他（　　）

→

（転入後）
1．単身　2．夫婦のみ　3．親子
4．３世代　5．その他（　　）

6　ご世帯にお子さんがいらっしゃる場合、次のどれに当てはまりますか（あてはまる番号全てに○）

1．就学前児童　2．小学生　3．中学生　4．高校生
5．短大・大学・大学院・高専・専門学校　6．社会人・アルバイト
7．その他（　　）

7　転入前・転入後のお住まいは

（転入前）
都道府県名（　　）
市町村名（　　）

→

（転入後）
伊勢原市（　　）
※町丁名を書いてください（東大竹１丁目など）

【裏面もご記入をお願いします】

8　転入前のご住所の居住年数は（住んでいた年数は）

居住年数（　　）年

9　勤務地・通学地は（働いている場所もしくは通っている学校の場所は）

1．通勤通学していない	2．市内
3．市外：都道府県名（　　）	市町村名（　　）

10　転入前・転入後の住宅の所有関係は（どのような住宅ですか）

（転入前）	（転入後）
1．持家（戸建て）	1．持家（戸建て）
2．持家（マンションなど）	2．持家（マンションなど）
3．民間の借家（戸建て）	3．民間の借家（戸建て）
4．民間の借家（アパート、マンションなど）	4．民間の借家（アパート、マンションなど）
5．公営の借家（市・県営、公団住宅など）	5．公営の借家（市・県営、公団住宅など）
6．社宅・独身寮	6．社宅・独身寮
7．親（子）が所有または賃貸している住宅	7．親（子）が所有または賃貸している住宅
8．その他（　　）	8．その他（　　）

11　伊勢原市へ転入されることになった最も大きなきっかけは何ですか
（あてはまる番号全てに○、内容にも○）

1．自分や家族の仕事の都合
【内容：就職　転職　転勤　退職　通勤の便　その他（　　）】
2．自分や家族の学校の都合
【内容：進学　通学　その他（　　）】
3．より良い住宅を求めて
【内容：広さ　設備　家賃　その他（　　）】
4．より良い周辺環境を求めて
5．結婚のため
6．親などの介護のため
7．親や子ども、その他親族との同居・近居・別居のため
8．その他（　　）

12　転入先として、伊勢原市を選ばれた理由は何ですか
（あてはまる番号全てに○）

1．子育てがしやすい	2．医療・福祉サービスが充実している
3．教育環境が良い	4．買い物や外食が便利
5．交通の便が良い	6．公共施設が充実している
7．治安が良い	8．親・子どもが近くにいる
9．友人・知人がいる	10．職場・学校が近くにある
11．まちのイメージが良い	12．以前から親しみがある
13．住宅の購入・賃貸にかかる費用が安い	14．静かで落ち着きがある
15．自然災害が少ない	16．自然環境に恵まれている
17．伊勢原市内に家・土地がある	18．その他（　　）

13　転入先として、伊勢原市以外のまちを検討しましたか

1．伊勢原市のみ	2．他に検討した市町村名（　　）

14　今後の伊勢原市のまちづくりについて、ご意見がありましたらご自由にお書きください

（　　）

ご協力ありがとうございました。
このアンケート用紙は、バインダーにはさんだまま、回収箱にお入れください。

「転出」に関するアンケート調査 調査票

伊勢原市からの「転出」に関するアンケート調査

このアンケートは、伊勢原市の今後のまちづくりの方策検討の参考とさせていただくものです。
アンケートは無記名形式で行い、統計的に処理しますので、個人が特定されることはありません。

1　あなたの性別は

１．男
２．女

2　あなたの年齢は

１．１０代　２．２０代　３．３０代　４．４０代
５．５０代　６．６０代　７．７０代以上

3　あなたのご職業は

１．会社員（企業・団体・官公庁など）　２．自営業（農漁業従事者など）
３．自営業（商工業従事者など）　４．パートタイマー・アルバイト
５．学生　６．無職（家事従事者含む）　７．その他（　　）

4　あなたの国籍は

１．日本　２．日本以外（国名：　　）

5　転出前・転出後の家族構成は

（転出前）
１．単身　２．夫婦のみ　３．親子
４．３世代　５．その他（　　）

→

（転出後）
１．単身　２．夫婦のみ　３．親子
４．３世代　５．その他（　　）

6　ご世帯にお子さんがいらっしゃる場合、次のどれに当てはまりますか（あてはまる番号全てに○）

１．就学前児童　２．小学生　３．中学生　４．高校生
５．短大・大学・大学院・高専・専門学校　６．社会人・アルバイト
７．その他（　　）

7　転出前・転出後のお住まいは

（転出前）
伊勢原市（　　）
※町丁名(大字)を記入してください(東大竹１丁目　等)

→

（転出後）
都道府県名（　　）
市町村名　（　　）

8　転出前のご住所の居住年数は

居住年数（　　）年

9　勤務地・通学地は

１．通勤通学していない　２．市内
３．市外：都道府県名（　　）市町村名（　　）

10　転出前・転出後の住宅の所有関係は

（転出前）
１．持家（戸建て）
２．持家（マンション等）
３．民間の借家（戸建て）
４．民間の借家（アパート、マンション等）
５．公営の借家（市・県営、公団住宅等）
６．社宅・独身寮
７．親（子）が所有または賃貸している住宅
８．その他（　　）

→

（転出後）
１．持家（戸建て）
２．持家（マンション等）
３．民間の借家（戸建て）
４．民間の借家（アパート、マンション等）
５．公営の借家（市・県営、公団住宅等）
６．社宅・独身寮
７．親（子）が所有または賃貸している住宅
８．その他（　　）

【裏面もご記入をお願いします】

11　伊勢原市から転出されることになった最も大きなきっかけは何ですか
（あてはまる番号全てに○、内容にも○）

１．自分や家族の仕事の都合【内容：就職　転職　転勤　退職　通勤の便　その他（　　）】
２．自分や家族の学校の都合【内容：　進学　通学　その他（　　）】
３．より良い住宅を求めて【内容：　広さ　設備　家賃　その他（　　）】
４．より良い周辺環境を求めて
５．結婚のため
６．親などの介護のため
７．親や子ども、その他親族との同居・近居・別居のため
８．その他（　　）

12　転出先の市町村を選ばれた理由は何ですか
（あてはまる番号全てに○）

１．子育てがしやすい	２．医療･福祉サービスが充実している
３．教育環境が良い	４．買い物や外食が便利
５．交通の便が良い	６．公共施設が充実している
７．治安が良い	８．親・子どもが近くにいる
９．友人・知人がいる	10．職場・学校が近くにある
11．まちのイメージが良い	12．以前から親しみがある
13．住宅の購入・賃貸にかかる費用が安い	14．静かで落ち着きがある
15．自然災害が少ない	16．自然環境に恵まれている
17．転出先の市町村に家・土地がある	18．その他（　　）

13　転居先として、伊勢原市内も検討しましたか

１．伊勢原市内は検討しなかった　　２．伊勢原市内も検討したが、他のまちに決めた

14　伊勢原市の住み心地はいかがでしたか

１．住みやすかった　　２．住みにくかった　　３．どちらともいえない
よろしければ理由をお聞かせください
（　　）

15　機会があれば、伊勢原市にもう一度住みたいと思いますか

１．住みたい　　２．住みたくない　　３．分からない
よろしければ理由をお聞かせください
（　　）

16　今後の伊勢原市のまちづくりについて、ご意見がありましたらご自由にお書きください

（　　）

ご協力ありがとうございました。
このアンケート用紙は、バインダーにはさんだまま、回収箱にお入れください。

「転出」に関するアンケート調査 調査票（やさしい日本語版）

伊勢原市からの「転出」に関するアンケート調査

このアンケートは、伊勢原市のこれからのまちづくりの参考とさせていただくものです。
アンケートは無記名形式で行い、統計的に処理しますので、個人が特定されることはありません。

1　あなたの性別は

1．男
2．女

2　あなたの年齢は

1．10代　2．20代　3．30代　4．40代
5．50代　6．60代　7．70代以上

3　あなたのご職業は（お仕事は）

1．会社員（企業・団体・官公庁など）　2．自営業（農漁業従事者など）
3．自営業（商工業従事者など）　4．パートタイマー・アルバイト
5．学生　6．無職（家事従事者含む）　7．その他（　　）

4　あなたの国籍は

1．日本　2．日本以外（国名：　　）

5　転出前・転出後の家族構成は（ひっこしをする前と後の家族構成は）

（転出前）
1．単身　2．夫婦のみ　3．親子
4．3世代　5．その他（　　）

→

（転出後）
1．単身　2．夫婦のみ　3．親子
4．3世代　5．その他（　　）

6　ご世帯にお子さんがいらっしゃる場合、次のどれに当てはまりますか（あてはまる番号全てに○）

1．就学前児童　2．小学生　3．中学生　4．高校生
5．短大・大学・大学院・高専・専門学校　6．社会人・アルバイト
7．その他（　　）

7　転出前・転出後のお住まいは

（転出前）
伊勢原市（　　）
※町丁名を書いてください（東大竹1丁目など）

→

（転出後）
都道府県名（　　）
市町村名（　　）

【裏面もご記入をお願いします】

8　転出前のご住所の居住年数は（住んでいた年数は）

居住年数（　　）年

9　勤務地・通学地は（働いている場所もしくは通っている学校の場所は）

1．通勤通学していない	2．市内
3．市外：都道府県名（　　）市町村名（　　）	

10　転出前・転出後の住宅の所有関係は（どのような住宅ですか）

（転出前）	（転出後）
1．持家（戸建て）	1．持家（戸建て）
2．持家（マンションなど）	2．持家（マンションなど）
3．民間の借家（戸建て）	3．民間の借家（戸建て）
4．民間の借家（アパート、マンションなど）	4．民間の借家（アパート、マンションなど）
5．公営の借家（市・県営、公団住宅など）	5．公営の借家（市・県営、公団住宅など）
6．社宅・独身寮	6．社宅・独身寮
7．親（子）が所有または賃貸している住宅	7．親（子）が所有または賃貸している住宅
8．その他（　　）	8．その他（　　）

11　伊勢原市から転出されることになった最も大きなきっかけは何ですか
（あてはまる番号全てに○、内容にも○）

1．自分や家族の仕事の都合
【内容：就職　転職　転勤　退職　通勤の便　その他（　　）】
2．自分や家族の学校の都合
【内容：進学　通学　その他（　　）】
3．より良い住宅を求めて
【内容：広さ　設備　家賃　その他（　　）】
4．より良い周辺環境を求めて
5．結婚のため
6．親などの介護のため
7．親や子ども、その他親族との同居・近居・別居のため
8．その他（　　）

12　転出先の市町村を選ばれた理由は何ですか
（あてはまる番号全てに○）

1．子育てがしやすい	2．医療・福祉サービスが充実している
3．教育環境が良い	4．買い物や外食が便利
5．交通の便が良い	6．公共施設が充実している
7．治安が良い	8．親・子どもが近くにいる
9．友人・知人がいる	10．職場・学校が近くにある
11．まちのイメージが良い	12．以前から親しみがある
13．住宅の購入・賃貸にかかる費用が安い	14．静かで落ち着きがある
15．自然災害が少ない	16．自然環境に恵まれている
17．転出先の市町村に家・土地がある	18．その他（　　）

13　転居先として、伊勢原市内も検討しましたか

1．伊勢原市内は検討しなかった　　2．伊勢原市内も検討したが、他のまちに決めた

14　伊勢原市の住み心地はいかがでしたか

1．住みやすかった　　2．住みにくかった　　3．どちらともいえない

よろしければ理由をお聞かせください

（　　）

15　機会があれば、伊勢原市にもう一度住みたいと思いますか

1．住みたい　　2．住みたくない　　3．分からない

よろしければ理由をお聞かせください

（　　）

16　今後の伊勢原市のまちづくりについて、ご意見がありましたらご自由にお書きください

（　　）

ご協力ありがとうございました。

このアンケート用紙は、バインダーにはさんだまま、回収箱にお入れください。

編集・発行／伊勢原市企画部経営企画課
〒259-1188
伊勢原市田中３４８番地
電話 0463－94－4845